

光記念館年報 第5号 平成18・19年度

光記念館 年報 2008.3

Hikaru Memorial Museum

第5号

平成18・19年度

平成18・19年度 光記念館年報 第5号

平成20年4月1日発行

編集・発行 光記念館

〒506-0051 岐阜県高山市中山町175

TEL 0577-34-6511

FAX 0577-34-6065

<http://www.h-am.jp>

Hikaru Memorial Museum

Hikaru Memorial Museum



www.h-am.jp

もくじ

ご挨拶	3
光記念館の理念	4
施設概要	5
建築概要	5
施設の規模	5
フロアガイド	6
平成 18 年、19 年度事業概要	
常設展示	
古代からのメッセージ	7
地質科学より見た飛騨展示室	7
人類史展示室	8
美術展示室	10
特別展	
「美人画展 ～美は時代をこえて～」	19
「隕石・恐竜展 ～ 6550 万年前の地球に何が起きたか～」	21
「お江戸のファッション展～其の一 着物編～」	24
「香りを彩る女神たち展」	26
「エジプト展～飛騨高山初!!5000 年の神秘が甦る～」	30
「芹沢銈介展～染色の美に魅せられて～」	36
企画展示	
「モホス文明予備調査写真展」	38
「飛騨匠根付展～匠の技ここにあり～」	39
「古代のヴィーナス展」	40
「古代のアクセサリー展」	41
「飛騨 33 億年の歴史展」	42
「古代のどうぶつえん展」	43
「太古の飛騨展～旧石器・縄文・弥生・古墳～」	44
講演会	
「縄文親子講座」	48
「のぞいてみよう！たまご博士の不思議ワールド」	49
「光る!!ピラミッド作りとエジプト博士のおはなし」	50
「エジプト博士の展示解説 Part1」	53
「エジプト博士の展示解説 Part2」	52
出張美術館	
出張美術館実施にあたって／出張美術館実施施設	53
体験学習	
独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動	55
高山市教育委員会 生涯学習課主催 土曜教室	56
期間限定 体験学習	66
その他	78
資料貸出	
資料貸出	80

ご挨拶

当館は、平成11年4月に開館してより10年目を迎えました。平成14年から登録博物館として活動を展開し、平成19年4月には文化庁より公開承認施設に認められました。

ここに光記念館年報第5号を刊行し、平成18・19年度に行った事業を報告致します。

特別展としては『美人画展』『隕石・恐竜展』『お江戸のファッション展』『香りを彩る女神たち展』『エジプト展』『芹沢銈介展』を開催して参りました。また、地域に根ざした博物館活動として、飛騨匠根付会に展示室を提供し『飛騨匠根付展』が行われました。

教育普及活動としては、文化庁芸術拠点形成事業に採用され（平成15年～平成19年まで毎年）、小・中学校や高齢者福祉施設に出向いての「出張美術館」を行いました。また、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成活動に採用され、館外で「自然体験学習」を行いました。

この他国内外の美術・博物館に作品・資料の貸し出し、出品を行い、他館との連携を深めると共に国際交流を展開しております。

今後とも、地域社会に貢献させて頂き、かつ国際色豊かな総合博物館として事業・施設の充実を図って参りたいと存じます。

これまでご協力を賜りました関係機関・関係者各位に心より厚く御礼を申し上げ、今後も当館の運営・事業に対しまして格段なるご指導とご鞭撻を賜りますよう謹みてお願申し上げます。

平成20年3月31日

光記念館 館長
加藤郁乎

光記念館の理念

1. テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。

「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたって

- ① 資料収集・保管
- ② 調査研究
- ③ 資料・収蔵品の紹介・展示
- ④ 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。

来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

2. 飛騨地域は、特有（古生代から新生代）の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。

地元、飛騨地域（高山市を含む）を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

3. 老若男女を問わず、子供から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として広く一般に利用していただくことを目的とする。

4. 世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。

そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

施設概要

建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町175
地区・地域	第2種住居地域 教育文化地区
工期	着工：平成 5年6月23日 竣工：平成10年2月27日 開館：平成11年4月 8日
敷地面積	75,753.75㎡ (22,915坪)
建築面積	14,097.00㎡ (4,264坪)
建ぺい率	19.78% ≤ 48.17% (地区計画)
延床面積	32,668.81㎡ (9,882坪)
容積率	45.84% ≤ 76.34% (地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用 乗用車 105台 バス 27台
	職員用 乗用車 66台
見学ゾーン面積	
1階	3,750.62㎡ (1,135坪)
地下1階	2,812.12㎡ (851坪)
地下2階	7,013.97㎡ (2,122坪)
合計	13,576.71㎡ (4,107坪)
能舞台	1舞台
小ホール	108席
収蔵庫面積	1,534.62㎡ (464坪)
図書室	30席
レストラン「ピラコチャ」	108席
和風レストラン「日玉の里」	82席 (団体予約専用)
立礼席	32席
美術館棟の外形	101m×86m
外部ピラミッドの高さ	20.7m (中央床面より)
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m (地下2階フロアより)
可変床面積	1,353㎡ (409坪)

平成 18 年、19 年度事業概要

常設展示

古代からのメッセージ

1, 展示目的

人類は発生より現在まで「幸福」を求め続け、今や絢爛豪華で便利な物質文明を極度に発展させた。その一方で現在、未来人類の存在すら危ぶまれる状況を出している。科学・医学・政治・経済・教育・宗教等の研究学問技術は個別に発達し、その相互の関連性の中で矛盾と対立を生み出している。それは、人類が直面している危機的諸問題解決の妨げとさえなっている。この人類規模の危機的状況を克服し、人類悠久繁栄と真の幸福という目的に向かってあらゆる分野を総合一体化させることの必要性を提案することが本展示室の目的である。社会科学・自然科学の様々な分野から研究成果を紹介することにより多様な知識を提供できる。また、学問として確立されていないものに関しても中立の立場から紹介し、より豊富な情報を提供している。

2, 展示内容

あらゆる分野からのテーマで展示を行っている。社会問題や科学、歴史等、既に学問として確立されたものや現在調査研究を行っているものについても展示している。常に中立的な見解からの展示を行ない、多様な側面からの情報知識を紹介する。

3, 展示手法

実物資料、グラフィック、映像、検索映像、映像（小ホール）
※「映像（小ホール）」では120インチプロジェクター1台と椅子108席を設置している。夏季を中心に監修の先生方並びに当館学芸員による特別講座を開催し、展示の補足や学習の補助を行なっている。

4, 開催した企画展

- ①モホス文明予備調査写真展
平成17年7月1日～平成18年9月5日

地質科学より見た飛騨展示室

1, 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。いつの時代においても1つ1つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけたえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2, 展示内容

飛騨は古生代の福地累層、中生代の手取層群、新生代の火砕流堆積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。飛騨の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。展示は飛騨産出の化石と考古資料を中心に古生代から現代までの飛騨の歴史と生命の関わりを提示している。展示は命と心の大切さを伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

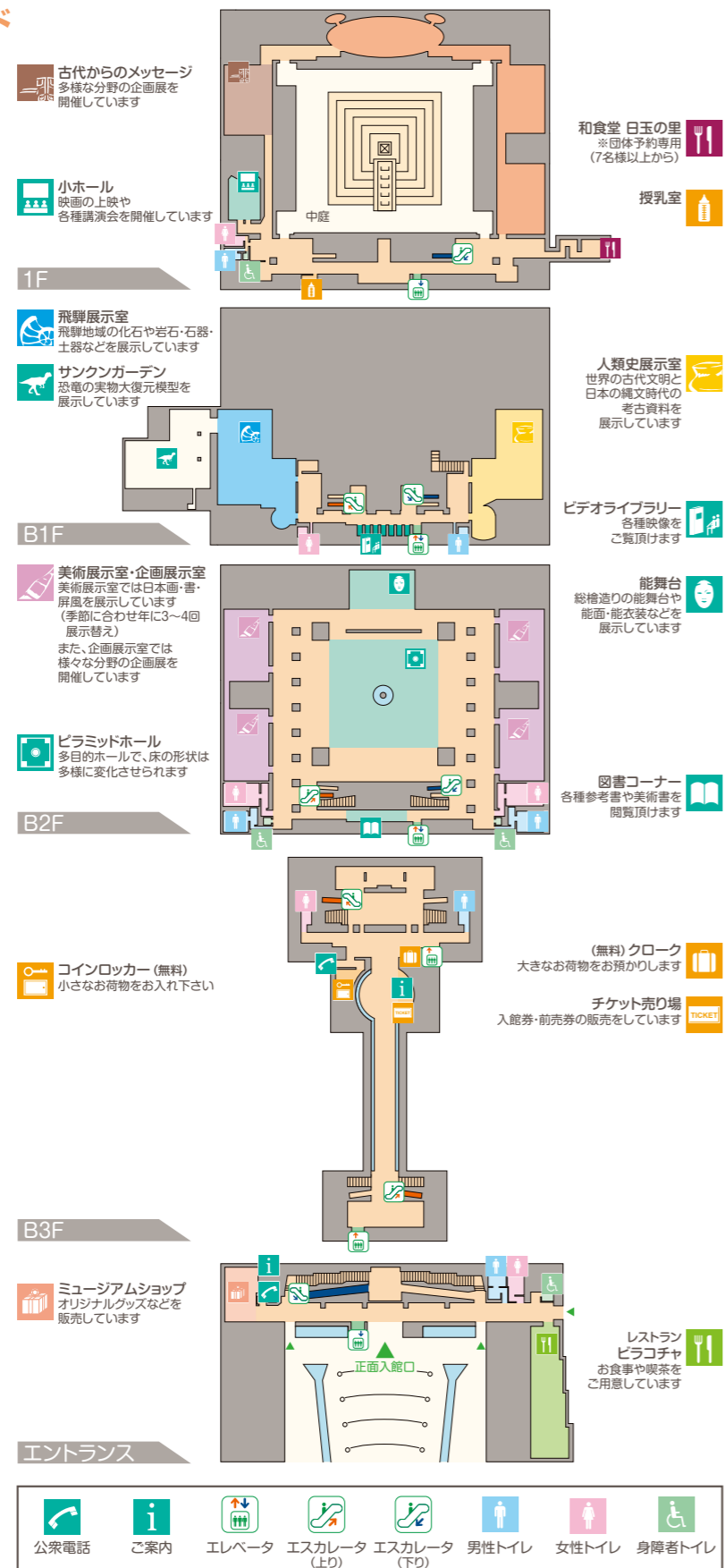
〈輝く生命の星〉

導入部に宇宙から見た地球を表現し、自然の美しさと思議さを提示しながら視点を飛騨に絞っていく。
※展示手法
地球模型。100インチモニター映像。実物資料：アエンデ隕石

〈古生代〉

飛騨にある古生代の地層から、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。これらの原始生物は何億年もかけて大量の酸素を放出し、生命の星とよばれる地球の基礎となる、オゾン層や大気等の環境をつくったといわれている。また、現在の珊瑚礁のように、古生代のサンゴと藻類等も理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことを紹介している。
※展示手法
実物資料…海生動物化石・岩石。
復元模型…実物資料を用いて、福地累層・デボン紀岩盤の一部を原寸大に復元した。
ジオラマ…デボン紀・石炭紀・二畳紀の海の様子を忠実に復元した。
ミラービジョン、映像。

フロアガイド



〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

※展示手法

実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等。
ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した。
恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリュウ・カガリュウの原寸大復元模型。

〈新生代〉

飛騨の山々は、新生代の活発な火山活動とプレートの活動によって形成されたといわれている。大地の巨大なエネルギーを地形の痕跡等から伝える。また、新生代は人類が出現し、活動を始めた時代でもある。

人類が作った道具を地球史46億年の産物である岩石、粘土、木の素材表現をするという視点で展示し、自然の産物を借用して人類は営み始めたことを伝えている。自然に適応するために道具を作り、自然素材の特性を活かして繁栄を遂げた人類と自然との共生を紹介する。

※展示手法

実物資料…石器、土器、岩石。
映像模型…噴火と再生の様子を紹介。

〈考古〉

高山市丹生川町広殿（ひろんど）遺跡の紹介

※展示手法

実物資料…土器・石器

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。ぺたぺたちそー（地層）をやってみよう…古生代・中生代・新生代の3つの時代の地層を作り各時代の生きていたもの（ぬいぐるみ）を貼り付ける体験学習。

※学習手法

Q & A コーナー…タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。
体験学習室…多目的スペース。実物資料に触れる、企画展等を計画。
体験学習室…触れる化石、拓本体験コーナー、恐竜パズル、等。

人類史展示室

1. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普通の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ること、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の“心”を問う場を提供している。

2. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行なっている。旧石器時代から世界の7つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約400万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介する。

※展示手法

実物資料…旧石器。
縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。

〈世界の古代文明〉

約1万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7つの文明と日本の縄文時代の地理的・時代的な位置関係を一望できるよう工夫した。
各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

世界地図に8つの21インチモニターを配置し、

各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像で一覧できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前3000年頃より栄えた世界的にもよく知られる7つの文明を、展示コーナーごとに分けて展示している。
世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索する。

※展示コーナー

- ①メソポタミア文明
- ②ギリシア・地中海文明
- ③エジプト文明
- ④インダス文明
- ⑤中国文明
- ⑥メソアメリカ文明
- ⑦アンデス文明

※展示手法

実物資料…
保存状態の良い副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。

グラフィック…

大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置した。

模型資料…

当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型（ウルのジクラット・パルテノン神殿・ティカール神殿）、エジプト太陽の船縮小模型、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成した。

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示する。

※展示手法

実物資料…土偶、土器、石製品。
レプリカ…木製品、土器。
ミラービジョン…三内丸山遺跡の5500年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねてみせる。

盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

古代文字スタンプ…
エジプトのヒエログリフとマヤ文字のスタンプを用意し、名前や来館日等を古代の絵文字で押して、持ち帰られるようにしている。

土器の立体パズル…

縄文の火炎土器とアンデスの鏡形土器を電磁石で組み立て、資料復元のミニ体験ができるようにしている。

Q & A コーナー…

タッチパネルモニターでの、展示内容を題材にした3択5問のクイズで、展示の復習を促している。

スタンプラリー…

展示室内9ヶ所にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。

美術展示室

1. 展示目的

芸術は古来より人の精神性に深く関わり、洗練されてきた。万人に通ずる清明正直な美の世界から、高い感性を培うことを目的としている。

2. 展示内容

光記念館地下2階には展示室が4室ある。この4室を特別展の内容に合わせて配分し、特別展の展示と美術の常設展示とに使用している。

当館は浮世絵の作品が充実しており、肉筆画：約420点、版画：約220点のコレクションは日本有数といえる。またこの他に、近・現代の日本画が約250点、書が約230点程ある。常設展示室ではこれらの中から特に、日本画・書の展示を行ない、作品の保護を考慮して年に3～4回展示替えを行っている。

平成18年 春展示作品

種類	作者	作品名	制作年
日本画	岡本弥壽子	宝珠	昭和49年
	小川芋銭	富士	大正11年頃
	小倉遊亀	宝珠	昭和49年
	門井掬水	桜花美人	
	加山又造	牡丹	昭和60年
	川端龍子	富貴盤	昭和33年頃
	久保嶺爾	飛騨真春	平成2年
	小早川清	行灯	
	小堀墨秀	鯉	平成元年
	塩出英雄	宝珠	昭和49年
	下村観山	武陵桃源	
	立石春美	梅が香	
	立石春美	若菜つみ	
	菱田春草	湖辺	明治35年
	前田青邨	薄紅梅	大正12～15年
	横山大観	嵐山	
	横山大観	乾坤耀く	昭和18年
	横山大観	春光	昭和10年頃
	横山大観	行く春	明治33年
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15年
書	石川雲鶴	雄志	平成9年
	市河米庵	花柳春至盛	江戸後期
	勝海舟	(漢詩)「落花水暖千船渡…」	江戸・明治
	北畑観欄	花	
	小島碧雲	蕭	
	小林抱牛	像	
	是永尚志	新出	平成12年
	佐々木 邦	帰一	平成9年
	手島右卿	現生不退	昭和36年
	東郷平八郎	智信仁勇厳	
	戸田提山	如	
	豊口広	花	平成
	豊口広	「さあ今日もがんばろう…」	
	濱田崇湖	堀口大學の詩	
	藤田金治	打坐	平成9年
	堀田翠堂	空	平成7年
	堀桂琴	会津八一歌	昭和49年
	南尚雲	虚己	平成5年
	山崎大抱	巍	昭和60年

刺し子	風間美代子	永遠の世界	平成6年
	風間美代子	創世への旅立ち	平成8年
	風間美代子	千年の夢	平成10年
屏風	中国七宝焼研究所	百花朝鳳	
陶芸	藤原雄 (人間国宝)	備前花入	昭和
	北大路魯山人	織部釉 陶硯	

平成18年 夏展示作品

種類	作者	作品名	制作年
日本画	川合玉堂	湖山月明	昭和2年
	岸田劉生	天竺牡丹之図	大正11年
	木村武山	蝗	明治33年頃
	小杉放庵	金太郎	昭和12年
	小杉放庵	雀の宿	昭和15年
	佐多芳郎	賀の日	昭和59年
日本画	佐多芳郎	聖観自在菩薩	昭和59年
	木村武山	蝗	明治33年頃
	竹内栖鳳	香富貴	昭和5～10年頃
	菱田春草	渡舟図	昭和33年頃
	前田青邨	巖島	大正6年頃
	棟方志功	飛天妃図	昭和33年
	山口華楊	百合	昭和40年代後半
	横山大観	海浜	明治36年
屏風	横山大観	怒涛	明治
	加山又造	龍図	昭和63年
型絵染	芹沢銈介	布文字 春夏秋冬	
	芹沢銈介	山々	
書	岩井鳳水	波	
	大杉弘子	天使/階段「兆」	平成8年
	柿下木冠	極	平成9年
	川谷尚亭	瀟灑風流	明治
	桑田笹舟	清水比庵の歌	昭和初期～中期
	柴山抱海	このいのちをありがとう	
	柴山抱海	聖観音	
	柴山抱海	仏足	
	柴山抱海	大日如来	
	柴山抱海	ようこそ ようこそ	
	鈴木天城	漢詩	
	角紅苑	放光	平成13年
	武田霞洞	(漢詩)五言律詩「緑竹半含…」	明治～大正
	手島巴人	涉	平成9年
	豊口広	風	平成10年
	藤原定家	藤原定家自筆書状	平安末期～鎌倉初期
	山本五十六		
頼 山陽	漢詩		

平成18年 秋・冬展示作品

種類	作者	作品名	制作年
----	----	-----	-----

日本画	今井俊満	秋草図	昭和63年
	今井俊満	飛花落葉	昭和
	歌川広重	今戸瓦焼き図	天保年間(1830~42)
	堅山南風	椿図	昭和3~5年
	葛飾北斎	爪頭描き山湖來雁之図	江戸後期
	狩野永真	鳴戸	江戸前期
	狩野益信	黒馬	江戸時代(元禄年間)
	狩野安信	にわとり	江戸前期
	酒井三良	新雪	昭和24~25年
	作者不詳	誰ヶ袖の図	桃山時代
	高森碎巖	黄花白鶴図	
	竹内栖鳳	冬晴	昭和10年頃
	南溪	猛虎	
	平福百穂	富嶽神鐘	明治~昭和
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15年
書	市河米庵	寿山	江戸後期
	市河米庵	天寿	江戸後期
	賀茂真淵	「古への代々の文を…」	江戸中期
	熊谷守一	我忘吾	
	千利休	(書簡) 墨木の文	天正年間(1573~91)
	頼山陽	(漢詩) 「冬顔暄暖開花已…」	
	伝 良寛	いろは歌	江戸後期
	良寛	漢詩	
陶芸	北大路魯山人	色絵紅葉文木葉形鉢	
太刀	康次	銘 康次(国宝)	鎌倉
陶器	金城次郎(人間国宝)	琉球双耳水柱	

平成19年 春展示作品

種類	作者	作品名	制作年
日本画	上村松園	わか葉の頃	昭和14年
	小川芋銭	さつき	大正5年頃
	門井掬水	桜花美人	
	加山又造	夜桜	昭和57年
	小杉放庵	おくの細道	昭和15年
	小杉放庵	金太郎	昭和12年
	下村観山	武陵桃源	
	高森碎巖	紙雛絵	
	立石春美	梅が香	
	立石春美	若菜つみ	
	寺島紫明	舞妓	
	速水御舟	牡丹睡猫	大正14年
	東山魁夷	凧	昭和15年
	前田青邨	薄紅梅	大正12~15年
	棟方志功	鷹の図	昭和24年
	村上華岳	山下煙樹図	
	横山大観	暮色	大正中期~昭和初期
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15年

書	井野吟紅	光陰如箭	平成9年
	大杉弘子	秘め事の文字「朝」	平成4年
	岡山高蔭	四季の歌(4点あり)	大正・昭和
	勝海舟	「落花水暖千船襲…」	江戸・明治
	加藤郁乎	御一方	平成10年
	黒木光三	本宮鼎三の句	平成12年
	後藤教子	大慈観	
	齋藤香坡	龍	
	酒井真沙	天心	
	作者不詳	静	
	桜井律好	磊	平成18年
	柴山抱海	この世に生まれた 唯それだけで すばらしい	
	角紅苑	放光	平成13年
	土田帆山	八風吹不動	昭和63年
	鶴木大寿	疊	平成9年
	手島巴人	永寧安昌	平成元年
	手島右卿	心	
	堂本印象	楽寿	
	日静	法悦	南北朝時代
	町春草	和歌	平成9年頃
太刀	康次	太刀 銘「康次」	鎌倉時代
陶芸	北大路魯山人	雲錦大鉢	昭和16年
油彩画	今井俊満	現代	昭和31年
アクリル画	今井俊満	桜	昭和63年
	今井俊満	火の精霊	昭和57年
コラージュ	今井俊満	水の精霊	昭和57年
	須田剋太	醉芙蓉花	1989年
抽象画	須田剋太		
	須田剋太		
	須田剋太		
	須田剋太		
	須田剋太		
	須田剋太		
石版画	Lu-Hong	ハート アンド ソウル	
	Lu-Hong	ノクターン	
	Ting-Shao-Kuang	母性	
	Jiang Tiefeng	ブラック ホース	
水彩画	Poul Jenkins	夏至	1982年
オブジェ	Aurelia Munos	三人の人物	1971年
レリーフ	Zbynek Sekal	無題	1976~1977年
	Zbynek Sekal	癒痕	1976年

平成19年 夏展示作品

種類	作者	作品名	制作年
日本画	上村松園	美人納涼図	昭和16年頃
	大谷園泉	鯉	昭和50年頃
	大室白耀	温南国	昭和49年
	尾竹国観	童子龍乗仙人図	
	金島桂華	雄鳥	昭和44年
	鍋木清方	今様浅妻舟	昭和13年頃
	鍋木清方	夏姿	昭和15年頃
	鍋木清方	粟の葉かげ	昭和20年頃
	鍋木清方	娘道成寺	昭和元年
	加山又造	鯉	
	児玉希望	牡丹双鳩	
	菱田春草	湖辺	明治35年

日本画	前田青邨	牡丹	昭和40年頃	
	山口華揚	百合	昭和40年代後半	
	横山大観	海浜	明治36年	
水墨画	山元春挙	夏の山路	明治	
アクリル画	今井俊満	夏草図	昭和61年	
	今井俊満	夏秋草図	昭和62年	
油彩画	川村悦子	蓮と陽光Ⅰ・Ⅱ	平成13年	
	石川雲鶴	雄志	平成9年	
書	上田桑鳩	壺		
	桐山大綬	遂	平成8年	
	後藤教子	魂	昭和62年	
	鈴木桐華	宙	平成3年頃	
	鈴木桐華	透	平成3年頃	
	立石光司	鳳		
	土屋弘鳳	社	平成12年	
	手島巴人	見ざる・言わざる・聞かざる		
	手島右卿	高明	昭和	
	手島右卿	鳴門	昭和62年	
	手島右卿	蓮	昭和37年	
	徳野大空	汀	昭和35年	
	戸田提山	無事	平成7年	
	堀田翠堂	空	平成7年	
	松竹太虚	嶺	昭和62年	
	村松太子	翔	平成10年	
	山崎大抱	巍	昭和60年	
	陶芸	加藤唐九郎	銘「紫雲」	昭和57年

平成19年 秋・冬展示作品

種類	作者	作品名	制作年
日本画	上村松園	四季美人図	明治25年
	鎭木清方	葛飾早春	
	鎭木清方	二人美人図	昭和初期
	川合玉堂	湖村夕照	明治43年
	川合玉堂	山村積雪	
	川合玉堂	蓬萊群鶴	
水墨画	北大路魯山人	雲錦鉢図	昭和10年代
	酒井三良	新雪	昭和24~25年
	富田溪泉	鹿図	
	橋本関雪	松泉清聴の図	明治初期
	菱田春草	瀑布（流動）	明治34年
	村上華岳	紅葉図	大正5年頃
	横山大観	月下の雁	明治後期~大正中期
	横山大観	蓬萊山	昭和14年
	下村観山	帰去辞来	大正初期
	小早川清	行灯	
	速水御舟	牡丹睡猫	大正15年
	石崎昭三	桜花咲く	
	小川芋銭	郊露	昭和5年頃
	川合玉堂	湖山月明	昭和2年

書	大杉弘子	丸胤「草原の虹」	
	賀茂真淵	「古への代々の文を…」	江戸中期
	日下部鳴鶴	漢詩	
	熊谷守一	我忘吾	
	後陽成天皇	宸翰御消息	江戸初期
	正田耀花	(臨書)張玄墓誌	平成9年
	鈴木天城	漢詩	
	須田剋太	○	
	須田剋太	激破貫通	
	須田剋太	華嚴	
	千利休	(書簡)墨木の文	天正13(1585)年以降
	手島右卿	漢詩	
	東郷平八郎	智信仁勇嚴	
	堂本印象	楽寿	
	中林梧竹	(漢詩)「新霽初之夕…」	明治
	松平樂翁	河歛冬	江戸後期
	棟方志功	随順	
	森本妙子	かな	
	良寛	漢詩	寛政12(1800)年前後
	小坂奇石	二行書	
野口雨情	詩		
加藤郁乎	御一方	平成10年	
角紅苑	雪竹		
辻桃子	俳句		
陶芸	小茂田青樹	再興日本美術院 文人皿	
	川端龍子	再興日本美術院 文人皿	
	小山大月	再興日本美術院 文人皿	
	作者不詳	再興日本美術院 文人皿	
	橋本静水	再興日本美術院 文人皿	
硯	中国広東省高要県斧柯山産	天然瓜硯(端溪硯)	

〈能舞台〉

能・狂言は約700年もの間守り継がれてきた日本の伝統芸能である。能舞台、能面、能装束などの展示や解説を通して、目に見えない世界や幽玄の世界をも表現する能の、深奥で研ぎ澄まされた芸術性や、人間の本质を突く喜劇狂言の面白さを伝える。

また、能・狂言に限らず、能舞台上で日本の伝統芸能を披露することもある。

平成18年度には日本舞踊の講演と琵琶の演奏会を行った。

・5月28日(日)『谷口裕和の会』(日本舞踊)

・11月4日(土)『関川鶴祐 琵琶リサイタル 琵琶で語る青春』(薩摩琵琶)

【展示資料】

可動式 総絵造りの能舞台。能装束：『羽衣』『狸々』用など。能面：『黒色尉』『白色尉』『増』『狸々』。

【60インチプロジェクター映像】

能：『舞囃子 高砂』『羽衣』『狸々』『狸々乱』

狂言：『栗焼』『口真似』

日本舞踊：長唄『二人椀久』 長唄『京鹿子娘道成寺』

琵琶：『幻の星 阿倍仲麻呂』『琵琶についてのお話』『平家物語 一 巻九 敦盛の最期より祇園精舎・一の谷』

ビデオライブラリーリスト / Video Library List			
No	タイトル Titles	時間 Time	備考 Remarks
101	妙 Wonder	約5分 5 minutes	古代からのメッセージ Messages from Ancient Times
102	メガリス Megaliths	約5分 5 minutes	
103	宇宙の調和 The Cosmos in Harmony	約6分 6 minutes	
104	メッセージ message	約6分 6 minutes	
201	生命の誕生 Birth of the Earth	約1分 1 minutes	
202	不思議な動物サンゴ Coral—A Mysterious Life Form	約4分 4 minutes	
203	化石は語る Fossils	約3分 3 minutes	
204	大自然の恵み The Grandeur of Nature	約4分 4 minutes	
205	高山盆地の形成 Formation of the Takayama Basin	約2分 2 minutes	
206	ボクたちの生物圏～大自然の恵みⅡ～ Blessings of the Earth～The realm of Life～	約7分 7 minutes	
207	すばらしき化石の世界 The Wonderful World of Fossils	約8分 8 minutes	
208	大いなる大地 Wonder of the Earth	約8分 8 minutes	
209	自然界の調和 Harmony in Nature	約7分 7 minutes	
210	恐竜最新情報～恐竜ってなあに～ What kind of animals were dinosaurs?	約4分 4 minutes	
211	恐竜最新情報～荘川町の化石～ Dinosaur fossils found in Shoukawa city	約3分 3 minutes	
212	恐竜最新情報～攻撃と防御～ How did dinosaurs attack other dinosaurs and protect themselves from attack?	約17分 17 minutes	
213	恐竜最新情報～恐竜の食性～ Food habits of dinosaurs	約10分 10 minutes	
214	恐竜最新情報～生痕化石～ Trace fossils	約7分 7 minutes	
215	恐竜最新情報～翼竜と魚竜～ Pterosaurs and Ichthyosaurs	約4分 4 minutes	
216	恐竜最新情報～恐竜の絶滅～ How did dinosaurs become extinct?	約3分 3 minutes	

301	メソポタミア文明 Mesopotamian Civilization	約2分 2 minutes	人類史展示室 WORLD HISTORY HALL
302	ギリシア・地中海文明 Greek/Mediterranean Civilization	約2分 2 minutes	
303	エジプト文明 Egyptian Civilization	約2分 2 minutes	
304	インダス文明 Indus Civilization	約2分 2 minutes	
305	中国文明 Chinese Civilization	約2分 2 minutes	
306	メソアメリカ文明 Mesoamerica Civilization	約2分 2 minutes	
307	アンデス文明 Andes Civilization	約2分 2 minutes	
308	縄文 Jomon Culture	約2分 2 minutes	
309	縄文の漆 The Use of Lacquer in the Jomon Period	約5分 5 minutes	
310	縄文人の生活と四季 Life in the Jomon Period	約4分 4 minutes	
311	ジョウモン博士とヒカリが語る～巨大木柱の謎～ Dr.Jomon and Hikari Talk about the "Large Wooden Pillar"	約5分 5 minutes	
312	旧石器人の心 Humankind in the Old Stone Age	約8分 8 minutes	
313	心が描かれた縄文土器 Jomon People and Their Earthenware	約11分 11 minutes	
314	神殿～祈りの造形～ Temples—Places of Prayer	約11分 11 minutes	
315	アンデス文明の歴史(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean civilization	約6分 6 minutes	
316	インカ帝国とは(当館監修者 大貫良夫先生解説) The Inca Empire	約7分 7 minutes	
317	ティワナク文化について(当館監修者 大貫良夫先生解説) Tiwanaku culture	約7分 7 minutes	
318	アンデス文明の食べ物(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean foods	約9分 9 minutes	
319	アンデスの黄金製品(当館監修者 大貫良夫先生解説) Andean ornaments of gold	約6分 6 minutes	
320	アンデス最古の金製品発掘(当館監修者 大貫良夫先生解説) Ancient artifacts of gold from Kuntur Huasi	約13分 13 minutes	
321	エジプトの歴史(当館学術協力者 村治笙子先生解説) History of Egypt	約9分 9 minutes	
322	エジプトの国土(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Egypt	約5分 5 minutes	
323	ナイルの贈物(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Gifts of the Nile	約4分 4 minutes	
324	交易(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Trade	約3分 3 minutes	
325	エジプト発見の歴史(当館学術協力者 村治笙子先生解説) History of the Discovery of Egypt	約4分 4 minutes	
326	永遠のための芸術(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Art for the Ages	約5分 5 minutes	
327	セクメト像(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Statue of Sekhmet	約2分 2 minutes	
328	ヒエログリフ(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Hieroglyphs	約3分 3 minutes	
329	ヒエログリフが書かれたもの(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Objects with Hieroglyphs Carved or Painted on Them	約3分 3 minutes	
330	ツタンカーメンの部屋(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Tutankhamen's Room	約2分 2 minutes	
331	ミイラ作りの始まり(当館学術協力者 村治笙子先生解説) The Origins of Mummy Making	約4分 4 minutes	
332	オシリスの裁判(死者の書)(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Osiris' Judgment (Book of the Dead)	約3分 3 minutes	
333	人は死ぬとどうなるの?(当館学術協力者 村治笙子先生解説) The Afterlife according to the Egyptians"	約3分 3 minutes	

334	古代のファッション(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Fashion in Ancient Times	約3分 3 minutes	美術 ART
335	エジプトの神々(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Deities of Egypt	約3分 3 minutes	
336	現代のエジプト(当館学術協力者 村治笙子先生解説) Modern Egypt	約3分 3 minutes	
401	舞囃子「高砂」™Maibayashi TAKASAGO™ A Noh Play (without masks or costumes)	約16分 16 minutes	
402	能「羽衣 和合之舞」 A Noh Play ~ HAGOROMO(THE FEATHER ROBE) ~	約11分 11 minutes	
403	狂言「栗焼」 Kyogen ~ KURIYAKI ~	約27分 27 minutes	
404	能「猩々」 A Noh Play ~ SHOJO ~	約31分 31 minutes	
405	狂言「口真似」 Kyogen ~ KUCHIMANE ~	約15分 15 minutes	
406	能「猩々乱」 A Noh Play~SHOJO MIDARE~	約35分 35 minutes	
407	関川鶴祐琵琶リサイタル「阿倍仲麻呂」 BIWA Recital~ABE NO NAKAMARO~	約23分 23 minutes	
408	関川鶴祐琵琶リサイタル「琵琶についてのお話し」 Talk about BIWA	約13分 13 minutes	
409	関川鶴祐琵琶リサイタル「敦盛」 BIWA Recital~ATSUMORI~	約25分 25 minutes	
410	日本舞踊 谷口裕和の会 「二人椀久」 Japanese Dance~NININ WANKYU~	約10分 10 minutes	
411	日本舞踊 谷口裕和の会 「京鹿子 娘道成寺」 Japanese Dance~KYOUKANOKO MUSUME DOJOJI~	約20分 20 minutes	

特別展

「美人画展 ～美は時代をこえて～」

会期：平成18年2月26日(日)～5月21日(日)
作品点数：約35点

《展示目的》

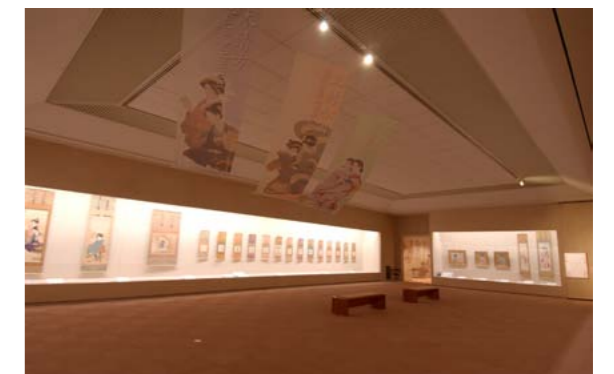
“女性美”は平安時代の絵巻物や江戸時代の浮世絵など、日本美術の大きなテーマとして取り上げられ、人々の心を魅了してきた。明治時代に入ると「美人画」は日本画の一つのジャンルとして確立され、数々の傑作が生まれた。本展では、日本画に描かれた女性像から、時代を超えて女性美がどのように表現されてきたかを感じて頂くことを目的とした。

《展示内容》

当館所蔵 上村松園・錦木清方・伊東深水の作品の中から、容姿端麗な女性のみでなく、時代の動き・風俗がにじみ出た女性像を約31点展示した。画家ごとに展示ケースを違え、それぞれの肖像写真、生い立ちなど画家に関するエピソード、語録等をパネルで紹介した。3者の年表も並列で表示した。また、美人画の原点として浮世絵2点も展示した。



美人画展ポスター



展示室の様子

《美人画展出品リスト》

作者	題名	制作年代
伊東深水	秋晴	
伊東深水	御点前	昭和41年頃
伊東深水	御点前	昭和30年頃
伊東深水	晴日	昭和35年頃
伊東深水	雪うさぎ	昭和元年～10年
上村松園	三美人之図	明治41年
上村松園	四季美人図	明治25年
上村松園	晴れ間	昭和14～15年
上村松園	美人納涼図	昭和16年頃
上村松園	わか葉の頃(個人蔵)	昭和14～15年頃
葛飾北斎	遠眼鏡を持つ美人	江戸後期
鏡木清方	京鹿子娘道成寺	
鏡木清方	今様浅妻舟	昭和13年頃
鏡木清方	お稽古	昭和初期
鏡木清方	神田祭	昭和10～15年頃
鏡木清方	夏姿	昭和15年頃
鏡木清方	棗の葉かげ	昭和20年頃
鏡木清方	花の山	昭和初期
鏡木清方	二人美人図	昭和初期
鏡木清方	娘道成寺(全12枚)	
鏡木清方	紅葉	
菱川師宣	官女	

「隕石・恐竜展 ～6550万年前の地球に何が起こったか～」

会期：平成18年6月1日(木)～12月10日(日)

作品点数：約264点

《展示目的》

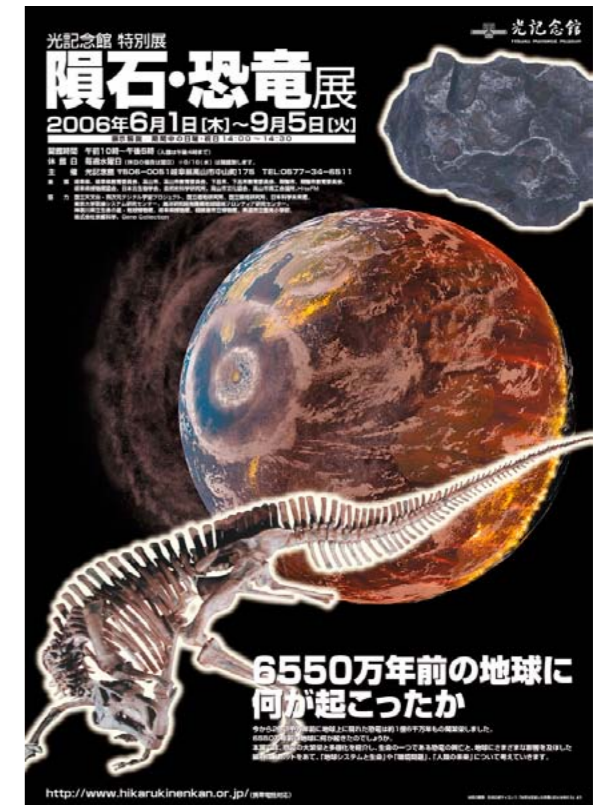
恐竜の大繁栄と多様性を紹介し、生命の一つである恐竜の興亡とその原因の一つと考えられる隕石にスポットをあて「地球システムと生命」や「環境問題」「人類の未来」について考えて頂くことを目的とする。

《展示内容》

- グラフィック -
- ・ ごあいさつ
- ・ 生命体としての恐竜とその興亡
- ・ 環境バランスの崩れはじめた地球
- ・ 動く大陸と恐竜の多様性
- ・ 6550万年前に何が起こったのか？
- ・ 荘川町の化石
- ・ 恐竜絶滅と隕石衝突
- ・ 太陽系の誕生と隕石
- ・ 隕石とは
- ・ 隕石のふるさと
- ・ 隕石はどうやってくるのだろうか
- ・ 隕石の見た目
- ・ 隕石の分類
- ・ 隕石の形
- ・ 隕石の名前の付け方
- ・ 日本の隕石
- ・ 世界の隕石
- ・ 隕石衝突とマヤ遺跡
- ・ 地球(太陽系)の誕生
- ・ 隕石衝突時代
- ・ 大量絶滅
- ・ 恐竜絶滅
- ・ 地球大異変～地球46億年の歴史と隕石(微・小惑星)～
- ・ ジャングルにできた巨大クレータ ～イトウラルデ・クレータ～
- ・ 南極大陸の成立と南極最古の岩石類(東南極大陸)
- ・ 南極大陸に生物がいた頃(西南極大陸)
- ・ 南極の隕石探査
- ・ 南極隕石がもたらしたもの
- ・ 地球は温暖化に向かっている～私たちはどうすればいいの～
- ・ 未来への警鐘

《実物資料》

- 隕石 -
- 所蔵資料…18点



《隕石恐竜展出品リスト（館所蔵）》

No	名称	種類	重量 (g)	発見場所	発見/落下日
1	Dar Gami 400 ダー・アル・ガニ	月隕石 エコンドライト	9	リビア共和国	1998/3/10 発見
2	Sayh al Uhaymir 005 セイ・アル・ウハイミール	火星起源隕石 エコンドライト	3.46	オマーン首長国	1999/11/26 発見
3	Murchison マーチソン	石質隕石 コンドライト	147	オーストラリア	1969/9/28 AM10:58 落下
4	NWA1222	石質隕石 コンドライト	122	モロッコ	1999 発見
5	Kunashak クナシャク	石質隕石 コンドライト	338	ロシア共和国	1949 発見
6	Zhovthevyi ゾフセヴィ	石質隕石 コンドライト	231	ウクライナ共和国	1938/10/10 落下
7	Kesen 気仙	石質隕石 コンドライト	83.5	岩手県陸前高田市気仙沼	1850/6/12 落下
8	Winona ウィノナ	石質隕石 コンドライト	1.47	アメリカ合衆国	1928 発見
9	Zag (b) ザグビー	石質隕石 エコンドライト	14.8	モロッコ	1999 発見
10	NWA978	石質隕石 コンドライト	9.3	北西アフリカ	2001 発見
11	NWA1182	石質隕石 エコンドライト	3.8	モロッコ	2000 発見
12	NWA1648	石質隕石 エコンドライト	11.6	モロッコ	2002 発見
13	Mbale ンバレ	石質隕石 コンドライト	96	ウガンダ共和国	1992/8/14 PM3:40 落下
14	Tatahuine タタウイン	石質隕石 エコンドライト	7	チュニジア共和国	1931/6/27 落下
15	NWA1242	鉄隕石	8.9	リビア共和国	1985 発見
16	NWA176	鉄隕石	22.7	モロッコとアルジェリアの国境	1999 発見
17	Canyon Diablo キャニオン・ディアブロ	鉄隕石	349	アメリカ合衆国	1891 発見
18	Campo Del Cielo カンポ・デル・シエロ	鉄隕石	40000	アルゼンチン共和国	1576 発見

借用資料…217点

- ・松井孝典東大教授より3点（K-T境界層など）
- ・国立極地研究所より22点（南極隕石）
- ・岐阜県博物館より1点（鉄隕石）
- ・神奈川県立生命と地球博物館より190点（世界の隕石）
- ・美濃市立藍見小学校より1点（美濃隕石）

—恐竜—

借用資料…29点

- ・ミュージアムパーク茨城県立自然博物館より1点
- ・岐阜県博物館より11点
- ・高山市教育委員会より17点

—協力—

- ・国立極地研究所
- ・岐阜県博物館
- ・神奈川県立生命と地球博物館
- ・ミュージアムパーク茨城県立自然博物館
- ・高山市教育委員会
- ・美濃市立藍見小学校
- ・東京大学大学院教授 理学博士 松井孝典先生
- ・ジンコレクション



展示室の様子



展示室の様子

「お江戸のファッション展 ～其の一 着物編～」

会期：平成18年9月14日（木）～12月10日

作品点数：42点

《展示目的》

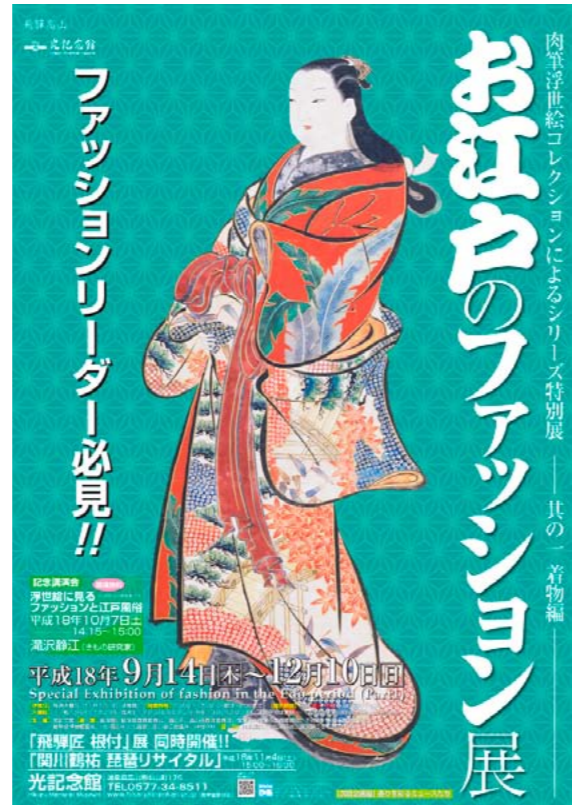
いつの時代も流行に敏感な女性達、江戸時代にその“流行”に貢献したのは浮世絵であった。浮世絵には江戸の流行の最先端が描かれ、（中には当時の最新モードを発表するために描かれたものもある）主に遊女や町娘が描かれた美人画は、単なるグラビアではなく、ファッションの良きお手本となった。本展では、浮世絵の「古くてよく分からない」というイメージを払拭し、若い人達にも気軽に見て頂くこと、ファッション雑誌をめくるような感覚でお江戸のファッション事情をつかんで頂くことを目的とする。

《展示内容》

当館の肉筆浮世絵コレクション（約420点）によるシリーズ特別展の第一弾は着物編とし、着物をテーマに約40点を選び、着物の歴史、着付け方や色柄・着こなしの変遷等の解説パネルと共に展示した。解説パネルはファッション雑誌のコメントのような読みやすいものと、難しいものとを併記した。また、案内役のキャラクターを作り、イラストも加えて解説した。

《後援》

岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM



お江戸のファッション展ポスター



展示室の様子

《お江戸のファッション展出品リスト》

分類	No	作品名	作者	年代	流派	サイズ (cm)
模様	1	掛け軸を見る三美人	作者不詳		西川派	46.7×60.1
	2	立ち美人	作者不詳		菱川派	65.9×28.5
	3	立ち美人	伝・松野親信		懐月堂派	75.8×34.2
	4	縁先美人	作者不詳		西村・石川派	68.1×27.0
	5	桜下美人	作者不詳		奥村派	75.3×35.0
	6	芸者立姿	一貫斎栄尚	"寛政末～文化 (1800-1817)"	鳥文斎派	86.0×27.6
	7	桜下美人	作者不詳	江戸後期	菊川派	102.2×28.7
	8	桜下美人	赤南張		京洛諸画人	102.6×34.3
	9	三美人と犬	雪屋主人		江戸諸画人	108.8×54.6
	10	遠眼鏡を持つ美人	葛飾北斎	江戸後期	葛飾派	73.0×28.8
	11	吉原風俗	歌川国勝	文政 (1818-1830) 頃	歌川派	85.5×41.8
	12	三世尾上菊五郎のいがみの権太	作者不詳	江戸後期	江戸諸画人	102.5×49.2
	13	遊女	磯川亭一指	江戸後期	鳥文斎派	82.4×28.5
	14	長煙管を持つ遊女	奥村政信		奥村派	91.2×11.8
帯	15	梅を見る女	籟堂	宝暦～明和(1751-1771)	西村・石川派	88.0×32.8
	16	立ち美人	作者不詳		懐月堂派	103.4×45.3
	17	灯籠を持つ遊女	菱川		菱川派	86.9×15.4
	18	立ち美人	古山師政	宝永～延享(1704-1747)	菱川派	67.0×25.3
	19	枕もつ女	月岡雪鼎	江戸中期	月岡派	90.8×24.8
	20	傘さし美人	歌川国久	江戸後期	歌川派	97.0×26.7
	21	人形を遣う娘	作者不詳		西村・石川派	66.5×25.1
	22	文読む女	西崎竹窓	江戸後期	菊川派	95.5×28.0
	23	美人立姿	菊川英里	文化～文政(1804-1829)	菊川派	111.6×28.0
	24	遊女と禿	琴風舎豊麿	寛政 (1789-1800)	喜多川派	100.0×51.0
	25	遊女と禿	大石真虎	江戸後期	京洛諸画人	130.0×60.6
	26	座敷の二美人	喜多川長麿	文化(1804-1817)	喜多川派	92.7×38.8
着物	27	舞妓	作者不詳	桃山～江戸初期	近世初期風俗画	-
	28	桜下美人	宮川一笑	江戸中期	宮川派	80.0×29.7
	29	立ち美人	作者不詳		正徳・享保期諸画人	82.5×34.1
	30	立ち美人	鳥居清倍		鳥居派	81.7×31.8
	31	遊歩美人	作者不詳		西川派	72.3×20.6
	32	紐を結ぶ女	祇園井特	江戸中期～後期	京洛諸画人	90.4×40.2
	33	本読み美人	作者不詳	江戸中期	明和・安永諸画人	78.5×17.9
	34	柳下縁台納涼美人	作者不詳		奥村派	105.0×41.2
	35	雪中傘さし美人	二代 鳥居清満	江戸後期	鳥居派	83.2×36.4
	36	遊女と禿	勝川春水	江戸中期	宮川派	58.9×23.9
花魁	37	遊女と禿	歌川豊広	江戸中期～後期	歌川派	105.0×37.0
	38	円窓の三美人	作者不詳		川又派	44.2×44.2
	39	遊女	作者不詳		京洛諸画人	97.8×40.7
	40	遊女立姿	作者不詳	寛政末～文化始め	鳥山・喜多川派	97.4×28.1
	41	遊女道中	歌川久信	江戸後期	歌川派	93.9×32.0
	42	遊女と禿	歌川国歳	幕末～明治	歌川派	111.7×57.0

「香り彩る女神たち展 ～マリリン・モンロー、ウィンザー公夫人らの愛用品とその時代に愛された香水瓶～」

会期：平成 19 年 2 月 26 日（月）～5 月 20 日（日）
作品点数：120 点

《展示目的》

19 世紀後半から 20 世紀にかけて、オートクチュール界の女帝といわれるココ・シャネルやエルサ・スカパレッリをはじめ、多くのファッションデザイナーたちが、パリやロンドン、ニューヨークなどで新しい服飾デザインを生み出した。新しいドレスやジュエリー・香りはそれまでの窮屈な衣裳から女性達を開放したばかりでなく、それらを身に纏うことで自己を主張し、印象づけた女性も登場させる。`寝る時私が身に纏うのは、シャネルの No.5 を 5 滴だけ。`といったマリリン・モンローや、イギリス国王エドワード 8 世が王位を捨ててまで愛したウォリス・シンプソンなど…。こうした女性達の類まれなる才能や美貌、まつわるエピソードなどによって彩られ、今なお輝きを放つ香りとファッションを紹介する。

《展示内容》

1900 年頃から 2000 年頃までの約 100 年間、主にヨーロッパ（特にフランス）やアメリカで、香水会社、化粧品会社やファッションデザイナー（ウォルト、コティ、シャネル、スカパレッリ等）が販売した香水瓶（芸術性よりもむしろ美しさ、ファッション性、楽しさを全面に出したもの）、及び書籍やウインドーディスプレイ用オブジェ等を展示した。

《後援》

岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会、岐阜県博物館協会、(社)高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM



ポスター



展示風景



展示風景

《香り彩る女神たち展出品リスト》

No	所有者名	作品名	年代
1	バプス・クリエイションズ (アメリカ)	イエスターイヤー	1939年
2	ブルジョワ (フランス)	パリの宵 (1930年代のボトル)	1928年
3	ブルジョワ (フランス)	パリの宵 (1930年代のボトル)	1928年
4	キャロン (フランス)	石の花ミニアチュール (1950年代のボトル)	1933年
5	キャロン (フランス)	クリスマスの夜 (1950年代頃のボトル)	1922年
6	キャロン (フランス)	クリスマスの夜 (1951年代頃のボトル)	1922年
7	キャロン (フランス)	タバ ブロン (黄色の巻き煙草)	1922年
8	コティ (フランス)	パリ	1920年代
9	ジャン・デブレ (フランス)	ヴォートル マン (あなたの手)	1939年
10	デレットレ (フランス)	香水 X X III 真珠の連	1923年
11	クリスチャン・ディオール (フランス)	ブワゾン (毒)	1985年
12	フロリス (イギリス)	イングリッシュ ブルーベル	
13	Jグロスマス&サン (イギリス)	フル・ナナ	1893年
14	ゲラン (フランス)	リュウ	1929年
15	ウビガン (フランス)	ルバルファム アイディアル (理想の香水)	1900年頃
16	リチャード・ハドナット (アメリカ)	ラソフレ (夜)	1927年
17	ランセル (フランス)	ヴィクトワール (勝利)	1940年頃
18	ランデリック (フランス)	ミラクル (奇跡)	1936年
19	リュシアン・ルロン (フランス)	ペントハウス	1934年
20	マルケイ (フランス)	レリュ (選ばれしもの)	1950年代
21	ミラリー (フランス)	花のエッセンス ローズ	
22	マッケソン&ロピンス (アメリカ)	ルクレティア・ヴァンダービルト	1927年
23	マッケソン&ロピンス (アメリカ)	ルクレティア・ヴァンダービルト (コンパクト)	1930年代
24	モリネル (イギリス)	“美しいしぐさ”或いは“NO.29”	1936年
25	ミルヒヤ (スペイン)	東洋の木	1929年
26	モリナール (フランス)	プロヴァンスのすべて	1923年頃
27	ミューリィ (フランス)	クリノリン	1930年
28	オル プロス (アメリカ)	オレンジの花	
29	マルセル・ゲラン (フランス)	王家の館	1927年
30	L.T.ピヴェール (フランス・アメリカ)	フロラミィ	1905年
31	プリンス・マツチャベッリ (フランス・アメリカ)	クラウン ジュエル	1950年頃
32	ルノワール (フランス・アメリカ)	チチ (気取り)	1942年頃
33	ハッティン・カーネギー (アメリカ)	パフューム 49	1944~50年代
34	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (ペンダント&練り香水)	1940~60年代
35	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (練り香水)	1940~60年代
36	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (アトマイザー)	1940~60年代
37	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (パリからの贈り物)	1940~60年代
38	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (ソープ)	1940~60年代
39	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (パウダー)	1940~60年代
40	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (リップスティック)	1940~60年代
41	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (トラベルサイズ)	1940年代
42	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (オーデオロン) ディスプレー用ボトル	1940~60年代
43	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (シルクハット) ディスプレー用	1940~60年代
44	スカパレッリ (フランス)	ショッキング ライフ (自伝、初版)	1954年
45	スカパレッリ (フランス)	レターセット	1940~60年代
46	スカパレッリ (フランス)	ショッキング (1940年代のボトル)	1936年
47	スカパレッリ (フランス)	オー・ド・トワレ”スポーツ”	1950年代

No	所有者名	作品名	年代
48	スキヤパレリ (フランス)	スナッフ (鼻煙香)	1940年
49	ハッティエー・カーネギー (アメリカ)	カーネギーピンク	1940年代
50	ボタン (アメリカ)	ピアノパフェムアンサンブル ライラックとクチナシ	1940年頃
51	ゲラン (フランス)	シャリマー (愛の館) *セモワ白粉 (詰め替え用)	1925年
52	レヴィロン (フランス)	舞踏会の手帳	1935年
53	A.A.ヴァンタイン&Co. (アメリカ)	横浜-ニューヨーク	1910~20年代
54	ゼノビア (イギリス)	スイートピーの花	1910年頃
55	コティ (フランス)	コティのエメラルド	1921年
56	コティ (フランス)	コティのエメラルド	1921年
57	ソーズ兄弟 (フランス)	コンパクト	1920~30年代
58	リュシアン・ルロン (フランス)	ジャボ (シャツの胸飾り)	1939年頃
59	リネッティエー (イタリア)	ベニス之夜	1948年
60	ブルジョワ (フランス)	魅惑	1953年頃
61	フィジーヌ (フランス)	フィジーヌ	1940年頃
62	ロジェ ガレ (フランス) ルネ・ラリック	愛の花	1922年
63	コティ (フランス) ルネ・ラリック	真紅のライラック	1910年
64	スキヤパレリ ドール社	着せ替え人形"ゴーゴー"	1950年代
65	ロジェ ガレ (フランス) ルネ・ラリック	銀のけし	1927年
66	ロジェ ガレ (フランス)	翡翠	1923年頃
67	ロジェ ガレ (フランス)	翡翠 ディスプレイ用プレート	1923年頃
68	スキヤパレリ (フランス)	ジュエリーポーチ	1940~60年代
69	スキヤパレリ (フランス)	トランプ	1940~60年代
70	ランコム (フランス)	魔法 (球) (1952年頃のボトル)	1951年
71	ラファエル (フランス) マルク・ラリックレブリック		1945年
72	リチャード・ル・ガリエンヌ著/リチャード・ハドナット出版 (アメリカ)	香りのロマンス	1928年
73	シャネル (フランス)	NO.5 (香りつきボールペン)	
74	スーヴァニア・カフェマルタン・ニューヨーク L.T.ピヴェール (フランス)	フロラミィ (扇・広告用)	1920~30年代
75		(扇・広告用)	1920~30年代
76	L.T.ピヴェール (フランス)	(扇・広告用)	1920~30年代
77	ギャルリーラファイエット (フランス)	(扇・広告用)	1920~30年代
78	ギャルリーラファイエット (フランス)	(扇・広告用)	1920~30年代
79	ギャルリーラファイエット (フランス)	(扇・広告用)	1920~30年代
80	ギャルリーラファイエット (フランス)	(扇・広告用)	1920~30年代
81	エイボン (アメリカ)	指環形 練り香水	
82	エステー・ローダー (アメリカ)	カメオ形 練り香水	
83		ペンダント形 練り香水	
84	ロジェ ガレ (フランス)	ディスプレイ用プレート	1990年代
85	ティエリー・ミュグレー	天使 (1990年代のウィンドウ・ディスプレイ用)	1992年
86	オスカー・デ・ラ・レンタ	オスカー	1977年
87	スキヤパレリ (フランス)	帽子	1950~60年代
88	スキヤパレリ (フランス)	麦わら帽子	1960年代
89	ファッション雑誌切抜き (額装)	スキヤパレリ化粧品広告	1940年代
90	クリスチャン・ディオール (フランス)	ドレス	1950年代
91	クリスチャン・ディオール (フランス)	ミス・ディオール (1992年以降のオリジナル復刻版ボトル)	1947年
92	パルファム・サルバドール・ダリ (フランス)	太陽王 (ルイ14世) オリジナルボトルは1946年スキヤパレリより発表	1997年
93	ゲラン (フランス)	ミツコ (1980年代のボトル)	1919年
94		ネックレス・イヤリングのセット	1960年代頃
95		香水瓶	1850年代頃
96		香水瓶	1950年代頃

No	所有者名	作品名	年代
97		ネックレス・イヤリングのセット	1965年頃
98		ブローチ	1950~60年代頃
99		オーストリッチ・ケープ	1950~60年代頃
100	シャネル (フランス)	香水瓶CHANEL NO.5	1921年
101		バングル、イヤリングセット	1960年代
102	コッポラ・エ・トッポ (イタリア)	ネックレス	1960年代
103	バレンシアガ (フランス)	ブローチ	1950年代
104	クリスチャン・ディオール (フランス・ドイツ)	ブローチ	1963年
105	クリスチャン・ディオール (フランス)	ブローチ、イヤリングセット	1959年
106	クリスチャン・ディオール (フランス・アメリカ)	ブローチ	1950年代
107	クリスチャン・ディオール (フランス)	ブローチ、イヤリングセット	1960年
108	クリスチャン・ディオール (フランス・ドイツ)	ネックレス、イヤリングセット	1968年
109	クリスチャン・ディオール (フランス・ドイツ)	ネックレス、ブローチ、イヤリングセット	1964年
110	シャネル (フランス)	ブローチ	1930年代
111	シャネル (フランス)	ブローチ	1930年代
112	スキヤパレリ (フランス)	ブローチ	1950年代
113	スキヤパレリ (フランス)	ブレスレット、イヤリングセット	1950年代
114	スキヤパレリ (フランス)	ブレスレット、イヤリングセット	1950年代
115	スキヤパレリ (フランス)	ネックレス、イヤリング	1950年代
116	スキヤパレリ (フランス)	ネックレス、ブローチ、イヤリングセット	1950年代
117	スキヤパレリ (フランス)	ブレスレット	1950年代
118	ハッティエー・カーネギー (アメリカ)	ブローチ	1950年代
119	ハッティエー・カーネギー (アメリカ)	ブローチ	1960年代
120	シャネル (フランス)	ネックレス (ブローチ)	1950年代

「エジプト展～飛騨高山初!!5000年の神秘が甦る～」

会期：平成19年6月1日（金）～9月17日（月）

作品点数：約200点

東京国立博物館蔵「セクメト椅像」1点、
藤沢市教育委員会蔵「高橋コレクション」より実物約60点、レプリカ3点
光記念館蔵：実物約90点
ナイルストーリー蔵：現代参考資料約20点
監修者蔵：現代参考資料約30点

《展示目的》

エジプト文明は世界中で最もよく知られる古代文明であり、その悠久の時をこえた文化遺産は、現代人に限りない興味を与えてくれる。今回の特別展は日本で所蔵する古代エジプトの文化遺産を紹介し、文明の全体像を子供にも分かりやすく紹介することを目的としている。

《展示内容》

本特別展では、アフリカ大陸北東のナイル川流域に繁栄し、豊かな農耕文化、太陽信仰、来世観をもって巨大なピラミッドや神殿、墓、副産物を遺した古代人の精神性や美意識と、約3000年の歴史を持つ古代エジプト文明の長期に渡る発掘・調査・研究の成果を紹介した。

展示では実物資料・模型などと共に、最新の画像・写真・イラスト約400枚を大型グラフィックなどを使用して、小・中学生にも分かりやすく展示した。エジプト文明の全体像を各コーナーのテーマに沿って紹介し、エジプトと世界各地の文明や日本との比較を行い、現代のエジプトの様子も紹介した。そして体験学習コーナーを各所に設置し、参加・体験型の展示を心掛けた。

日本とエジプト国交50周年に当たる平成19年にエジプト展を開催させて頂いたわけだが、本展がきっかけとなりエジプト大使館主催の文化交流事業参加・協力をさせて頂くこととなった。

《展示詳細》

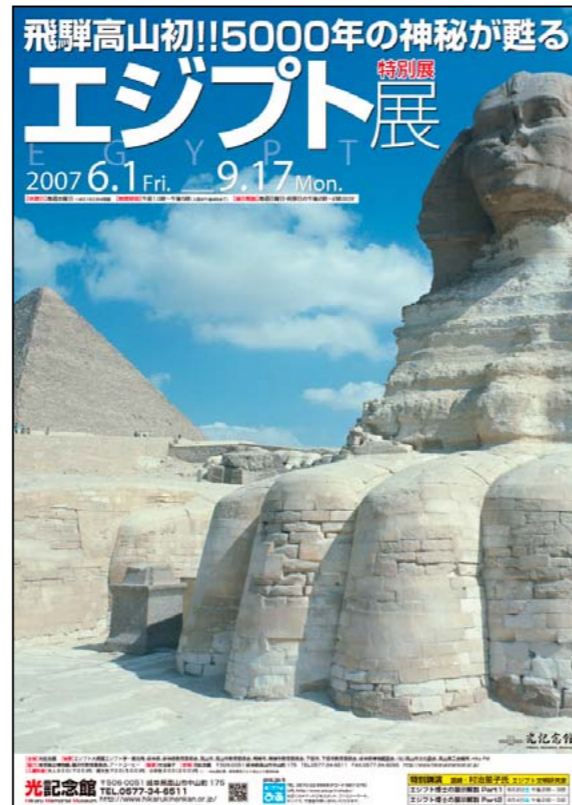
導入部：大スフィンクス入口・ご挨拶文・スタンプ

1 「古代エジプトへの誘い」コーナー

○大型年表と代表的な考古資料、大型映像、ナイルの恵み、模型

2 「遺跡をひもとく」コーナー

○壁画・ヒエログリフ・発掘調査の歴史・世界との比較、映像・文字スタンプ
○「ツタンカーメンの部屋」コーナー
○王墓と出土資料の模型・顔出しパネル



3 「古代人の死生観」コーナー

○ミイラ作り・儀式・冥界の旅・来世・古代のファッション・体験学習：ミイラ模型・死者の書ぬいぐるみ・双六・供物模型・香りメイク

4 「古代エジプトの神々」コーナー

○エジプトの神々・歴史書、体験学習：神話の飛び出す絵本

5 「現代のエジプト」コーナー

○宗教・特産品・衣食住の紹介、体験学習：楽器
○「アブシンベル大神殿」写真撮影コーナー
○体験学習：古代・現代のエジプト衣装

—有料の体験学習—

○プラ板ビーズストラップ作り（1回100円）
エジプトの絵をプラ板に描いてビーズをつけたストラップ作り
—子供プレゼント—

○子供用チラシを持ってきた中学生以下の子供に毎月違う色のピラミッドキャンドルをプレゼントし、4色全部集めた子にはスペシャルピラミッドとステッカー・しおりセットを贈った。

《後援》

エジプト大使館、岐阜県、岐阜県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市、飛騨市教育委員会、下呂市、下呂市教育委員会岐阜県博物館協会、（社）高山市文化協会、高山商工会議所、Hits FM

《協力》

東京国立博物館、藤沢市教育委員会、アートコピー

《監修》

村治 笙子（エジプト文明研究者）



一般用チラシ



子供用チラシ



《エジプト展出品リスト》

No	資料名	文化・時代	材質	法量	所蔵
1	セクメト倚像	新王国時代(第18王朝時代)	石	1580XW490XT845	東京国立博物館
2	ロゼッタ・ストーン(レプリカ)	プトレマイオス時代・B.C.196		H762XW952xD	藤沢市教育委員会
3	波状把手土器	先王朝時代	土	H328XW102xD102	藤沢市教育委員会
4	アンフォーラ型瓶	末期王朝時代・B.C.1000頃	ガラス	H153XW57xD57	藤沢市教育委員会
5	アンフォーラ型瓶	末期王朝時代・B.C.1000頃	ガラス	HXW57xD57	藤沢市教育委員会
6	アンフォーラ型瓶	末期王朝時代・紀元前5世紀	ガラス	H86XW49xD49	藤沢市教育委員会
7	ウジャトの目	新王国時代・第18王朝	石	HXW48xD	藤沢市教育委員会
8	ウジャトの目	新王国時代	石	HXW24xD	藤沢市教育委員会
9	ウジャトの目	不明	ファイアンス	HXW57xD	藤沢市教育委員会
10	スカラベ	新王国~末期王朝時代	石	H30XWxD	藤沢市教育委員会
11	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H17XWxD	藤沢市教育委員会
12	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H33XWxD	藤沢市教育委員会
13	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H17XWxD	藤沢市教育委員会
14	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H49XWxD	藤沢市教育委員会
15	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H42XWxD	藤沢市教育委員会
16	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H24XWxD	藤沢市教育委員会
17	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H25XWxD	藤沢市教育委員会
18	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H44XWxD	藤沢市教育委員会
19	有翼スカラベと神像	不明	ファイアンス	H45XWxD	藤沢市教育委員会
20	アंक形護符	不明	金	H48XW27xD	藤沢市教育委員会
21	アंक形護符	新王国時代	ファイアンス	H84XWxD	藤沢市教育委員会
22	ジェド形護符	不明	ファイアンス	H28XWxD	藤沢市教育委員会
23	「大変美しい」刻印護符	不明	ファイアンス	H15XW12xD	藤沢市教育委員会
24	有翼日輪付門	新王朝時代・第18王朝	ファイアンス	H4.4 XW6.6xD	藤沢市教育委員会
25	ミイラのための護符	新王国時代	皮・布	H153XW423xD	藤沢市教育委員会
26	ミイラのための護符	新王国時代	皮・布	H112XW64xD	藤沢市教育委員会
27	ミイラのための護符	新王国時代	皮・布	H114XW68xD	藤沢市教育委員会
28	ウシャブティ	末期王朝時代・サイス王朝	ファイアンス	H111XW32xD	藤沢市教育委員会
29	ウシャブティ	末期王朝時代	ファイアンス	H115XWxD	藤沢市教育委員会
30	ウシャブティ	プトレマイオス時代	木	H230XW56xD	藤沢市教育委員会
31	トト	新王国時代	青銅	H205XWxD	藤沢市教育委員会
32	トゥエリス	新王朝時代・第19王朝	ファイアンス	H20.5XWxD	藤沢市教育委員会
33	イシス	末期王朝時代	青銅	H111XWxD	藤沢市教育委員会
34	ホルス	末期王朝時代	土	H73XWxD	藤沢市教育委員会
35	オシリス	末期王朝時代	青銅	H129XW30xD	藤沢市教育委員会
36	ハトホル頭部	プトレマイオス時代	ファイアンス	H105XWxD	藤沢市教育委員会
37	王の顔(象嵌細工用)	新王国時代・第18王朝	ガラス	H49XW33xD	藤沢市教育委員会
38	木偶	中王国時代	木・漆喰	H104XWxD	藤沢市教育委員会
39	アメンホテプ4世(レプリカ)	新王国時代・第18王朝		H135XWxD	藤沢市教育委員会
40	猫	新王国時代	青銅	H82XWxD	藤沢市教育委員会
41	カバ(レプリカ)	中王国時代		H143XW165xD	藤沢市教育委員会
42	目と眉(象嵌細工用)	新王国時代	青銅、アラバスター、アスファルト	H98XWxD眉H100XWxD	藤沢市教育委員会
43	沈み浮彫り(王妃像)	新王国時代・第18王朝	石	H230XW210xD	藤沢市教育委員会
44	沈み浮彫り	不明	石灰岩	H430XW305xD	藤沢市教育委員会
45	化粧品入れ	プトレマイオス時代	青銅	H52XW273xD86	藤沢市教育委員会
46	柄付き鏡	新王国時代・第18王朝	青銅	H182XW128xD	藤沢市教育委員会
47	ウジャトの目入り首飾り	新王国時代	ファイアンス	H700XWxD	藤沢市教育委員会
48	首飾り	新王国時代・第18王朝	ガラス、ファイアンス、貴石	H500XWxD	藤沢市教育委員会
49	首飾り	新王国時代・第18王朝	ファイアンス	H360XWxD	藤沢市教育委員会
50	ビーズ	不明	ファイアンス	H182XW204xD	藤沢市教育委員会
51	ガラス玉	末期王朝時代	ガラス	H11XW11xD11	藤沢市教育委員会
52	ガラス玉	末期王朝時代	ガラス	H12XW11xD11	藤沢市教育委員会
53	トンボ玉	不明	ガラス	H21XW20xD20	藤沢市教育委員会
54	モザイクガラス付き指輪	ローマ時代	ガラス、金	H18XW12xD12	藤沢市教育委員会
55	モザイクガラス付き指輪	ローマ時代	ガラス、金	H22XW22xD22	藤沢市教育委員会
56	彩色板	末期王朝時代	木・漆喰	H273XW140xD	藤沢市教育委員会
57	木棺片	古王国時代	木	H565XWxD110	藤沢市教育委員会
58	「死者の書」断簡	不明	パピルス	H200XW260xD	藤沢市教育委員会
59	枕	新王国時代	木	H200XWxD240	藤沢市教育委員会
60	壁飾り(ラムセス2世銘)	新王国時代	ファイアンス	H75XW75xD75	藤沢市教育委員会
61	卵形アラバスター	新王国時代	アラバスター	H52XW37xD37	藤沢市教育委員会
62	印章	新王国時代	石	H30XWxD46	藤沢市教育委員会
63	礼拝者の彩色浮き彫り	新王国時代・第19王朝	石灰岩	H185XW310XD285	光記念館
64	ホルスを抱くイシス女神像	新王国時代以降	不明	H XW XD	光記念館
65	木製彩色人物座像	中王国時代	木	H85XW43XD65	光記念館
66	木棺マスク	末期王朝時代	木	H320XW315XD110	光記念館

No	資料名	文化・時代	材質	法量	所蔵
67	木製腕	新王国時代・第19王朝	木	H280XW45XD40	光記念館
68	アラバスター製容器	新王国時代	石	H178XW43XD43	光記念館
69	アラバスター製容器	初期王朝時代	石	H203XW65XD65	光記念館
70	二本指の護符	第一中間期	石	H70XW37XD37	光記念館
71	埋葬用コーン	新王国時代	土	H93XW80XD78	光記念館
72	埋葬用コーン	新王国時代	土	H75XW75XD130	光記念館
73	埋葬用コーン	新王国時代	土	H70XW85XD175	光記念館
74	埋葬用コーン	新王国時代	土	H75XW80XD85	光記念館
75	トトの姿のトト神	末期王朝時代～プトレマイオス朝	青銅	H122XW100XD32	光記念館
76	花崗岩皿	ローマ期	花崗岩	H62XW206XD205	光記念館
77	青年像彩色浮き彫り	初期王朝時代	石	H260XW150XD40	光記念館
78	浅浮き彫り石碑	末期王朝時代	石灰岩	H190XW370XD33	光記念館
79	彩色渦巻き文壺	初期王朝時代	土	H160XW215XD215	光記念館
80	ブラックトツブ広口壺	ナカーダ I～II期	土	H250XW120XD120	光記念館
81	ウシャブティ(シャブティ)像	年代不詳	不明	H XW XD	光記念館
82	花文綴れ織コプト製	コプト初期、ローマ帝国時代	布	H15XW1030XD230	光記念館
83	人・駱駝文綴れ織コプト製	コプト初期、ビザンチン時代	布	H15XW590XD340	光記念館
84	人物獅子文綴れ織りコプト製	B.C.600年頃	布	H235XW250XD1	光記念館
85	象牙製化粧道具(アイライン用)		不明	H108XW5XD5	光記念館
86	化粧容器・十六点	新王国時代～末期王朝時代	石	H XW XD	光記念館
102	動物刻文大壺	中世	土	H420XW440XD450	光記念館
103	赤色長首壺	中世	土	H288XW180XD180	光記念館
104	乗馬形ブロンズ像	中世	青銅	H34XW40XD17	光記念館
105	鉄製カメレオン	中世	鉄	H14XW105XD19	光記念館
106	呪術板	プトレマイオス朝	ファイアンス	H×W85×D102	光記念館
107	呪術板	プトレマイオス朝	ステアタイト	H×W80×D128	光記念館
108	ジョゼル王のタイル(15点)	古王国・第3王朝(B.C.2686年～B.C.2613年)	ファイアンス	各H×W36×D60	光記念館
109	イシス神のアミュレット	プトレマイオス朝	ファイアンス	H50×W×D	光記念館
110	アナビス神のアミュレット	プトレマイオス朝	ファイアンス	H50×W×D	光記念館
111	ムウト神のアミュレット	プトレマイオス朝	ファイアンス	H48×W×D	光記念館
112	スプーンの飾り	新王朝期(B.C.1565年～B.C.1070年)	ステアタイト	H×W35×D35	光記念館
113	オキシリンコス	プトレマイオス朝	青銅	H60×W110×D	光記念館
114	セラピス神胸像	プトレマイオス朝	青銅	H73×W×D	光記念館
115	鬘のモザイクガラス	プトレマイオス朝	不明	H×W30×D45	光記念館
116	顔のSculpture model	プトレマイオス朝	石灰岩	H65×W×D	光記念館
117	足のSculpture model	プトレマイオス朝	石灰岩	H×W108×D	光記念館
118	鳥形化粧パレット	ナガタ期(B.C.3200年頃)	粘板岩	H×W133×D	光記念館
119	壁画断片	中王国時代(B.C.2040年～1750年)	漆喰	H×W110×D128	光記念館
120	座像	新王朝(B.C.1565年～B.C.1070年)	ステアタイト	H60×W×D	光記念館
121	奉納板(2点)	第26王朝	ファイアンス	H×W260×D50	光記念館
122	彩色レリーフ残欠	古王国時代	不明	H150×W200×D70	光記念館
123	王像頭部	不明	石膏	H195 XW65 XD100	光記念館
124	ピース製顔	不明	不明	H128 XW155 XD5	光記念館
125	ファイアンス製顔	不明	ファイアンス	H108 XW80 XD40	光記念館
126	木製顔	不明	木	H225 XW107 XD60	光記念館
127	木製顔	不明	木	H230 XW135 XD65	光記念館
128	石製人物像頭部	不明	石	H100 XW85 XD70	光記念館
129	オシリス神像	不明	青銅	H115 XW35 XD20	光記念館
130	イシス神像	不明	青銅	H95 XW310 XD410	光記念館
131	アナビス神座像	不明	ファイアンス	H125 XW61 XD75	光記念館
132	王立像ファイアンス	不明	ファイアンス	H290 XW55 XD90	光記念館
133	木製人物立像	不明	木	H193 XW58 XD55	光記念館
134	木製人物立像	不明	木	H175 XW36 XD50	光記念館
135	木製人物立像	不明	木	H200 XW65 XD60	光記念館
136	コプト織	不明	布	H127 XW295 XD	光記念館
137	コプト織	不明	布	H150 XW185 XD	光記念館
138	コプト織	不明	布	H175 XW170 XD	光記念館
139	コプト織	不明	布	H125 XW185 XD	光記念館
140	コプト織	不明	布	H80 XW175 XD	光記念館
141	アナビスのカノボス壺	不明	石	H123 XW50 XD45	光記念館
142	青銅製人物像	不明	青銅	H170 XW40 XD45	光記念館
143	子供のホルス神像	不明	不明	H140 XW40 XD35	光記念館
144	三神像	不明	不明	H65 XW50 XD35	光記念館
145	ヒヒの姿のトト神像	不明	大理石	H15 XW9 XD12	光記念館
146	ベス神像	不明	ファイアンス	H65 XW38 XD15	光記念館
147	ベス神像	不明	ファイアンス	H32 XW14 XD10	光記念館
148	人物像頭部	不明	不明	H34 XW24 XD23	光記念館
149	有翼スカラベ	不明	ファイアンス	H31 XW60 XD11	光記念館
150	スカラベ型護符	不明	ファイアンス	H29 XW21 XD10	光記念館

No	資料名	文化・時代	材質	法量	所蔵
151	ウジャトの眼	不明	不明	H13 XW17 XD4	光記念館
152	ウジャトの眼	不明	ファイアンス	H14 XW17 XD7	光記念館
153	護符	不明	ファイアンス	H20 XW17 XD8	光記念館
154	セクメト型護符	不明	ファイアンス	H80 XW26 XD11	光記念館
155	鳥型護符	不明	ファイアンス	H41 XW10 XD20	光記念館
156	ロバ型護符	不明	青銅製	H34 XW8 XD25	光記念館
157	アंक型護符	不明	ファイアンス	H76 XW27 XD10	光記念館
158	印章型護符	不明	ファイアンス	H15 XW15 XD5	光記念館
159	ウシャブティ	不明	石膏	H400 XW105 XD90	光記念館
160	ウシャブティ像	不明	土	H135 XW35 XD39	光記念館
161	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H173 XW55 XD30	光記念館
162	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H110 XW30 XD33	光記念館
163	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H65 XW22 XD15	光記念館
164	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H XW XD	光記念館
165	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H160 XW55 XD54	光記念館
166	ウシャブティ	不明	不明	H105 XW40 XD37	光記念館
167	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H123 XW35 XD29	光記念館
168	ウシャブティ	不明	土	H147 XW54 XD53	光記念館
169	彩文土器	不明	不明	H140 XW200 XD165	光記念館
170	ブラックトツブ	不明	不明	H102 XW103 XD100	光記念館
171	スカラベ(木製)	不明	木	H90 XW50 XD30	光記念館
172	有翼スカラベ	不明	ファイアンス	H72 XW187 XD12	光記念館
173	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H250 XW57 XD41	光記念館
174	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H155 XW40 XD40	光記念館
175	ウシャブティ	不明	ファイアンス	H203 XW60 XD35	光記念館

「芹沢銈介展～染色の美に魅せられて～」

会期：平成19年9月28日（金）～12月17日（月）
作品点数：56点

《展示目的》

芹沢銈介は、模様デザイン、型紙作り、糊置き、染めといった、従来の染め物では分業制にする行程をただ一人で行う“型絵染め”を生み出し、1956（昭和31）年に型絵染めの人間国宝に認定された。当館では平成15年に『人間国宝芹沢銈介展』を開催し、芹沢銈介を広く紹介したが、～染色の美に魅せられて～と題した今回は、染めの魅力を味わって頂くことを目的とした。

《展示内容》

肉筆画は出品せず、初公開の『絵本どんきほ一て』、『極楽からきた』をはじめとする染めの作品ばかり50点を展示した。



《芹沢銈介展出品リスト》

分類	No	作品名	年代
屏風	1	いろは文六曲屏風	昭和33 (1958)年
	2	みの・けら図二曲屏風	昭和32 (1957)年
	3	極楽から来た	
のれん	4	秋草文のれん絵	昭和40 (1965)年
	5	朝顔文のれん絵	昭和40 (1965)年
	6	赤富士のれん	
	7	福寿文壺文のれん	昭和45 (1970)年
	8	打てや双手を絵文のれん	
	9	機織文のれん	
	8	光の字文のれん	
	10	備文のれん	昭和54 (1979)年
	11	花鳥文のれん	
	12	板場文のれん	
	13	南瓜と唐辛子文のれん	昭和33 (1958)年
	14	縄のれん文のれん	昭和30 (1955)年
	15	笹文のれん	昭和48 (1973)年
	16	天の字文のれん	昭和40 (1965)年
	17	飛びの字文のれん	昭和43 (1968)年
	18	風の字文のれん	昭和32 (1957)年
	19	壺屋文のれん	
20	風の字のれん(裁断前) 個人蔵		
額・軸	21	夕照(瑞雲)	昭和46 (1971)年
	22	花ならで花の花なる	昭和53 (1978)年
	23	型絵染カレンダー	
	24	松竹梅絵図	
	25	小川紙漉村絵図	
着物	26	津村小庵文紺地着物	昭和42 (1967)年
	27	小川紙漉村文紺地着	昭和18 (1943)年
	28	落葉文着物	昭和28 (1953)年
	29	いろは文朱地着物	昭和33 (1958)年
	30	さび朱小川紙漉村文着物	
	31	小模様散らし文着物	昭和13 (1938)年

帯	32	葉草文黄地帯	昭和25 (1950)年
	33	山並文白地帯	昭和29 (1954)年
	34	多色いろは文帯	昭和33 (1958)年
	35	小模様散らし帯	昭和13 (1938)年
	36	津村小庵文帯	昭和42 (1967)年
	絵本どんきほ一て	37	作男さんちよ従へ廻国の門出
38		世に名も高き初の手合はせ	
39		はかられて山を出る	
40		飯もりの戸迷ひが騒ぎの因	
41		さんちよの苦計草刈女を姫と強弁	
42		灰となる数々の武勇伝	
43		再拳の企らみ薬師の思案	
44		恐れを知らぬどんきほ一て	
45		洞穴に入りて不思議を見る	
46		弱きを助け悪をこらす	
47		貴人と見えて客となる	
48		流れに浮ぶ魔の小舟	
陶芸	49	河井寛次郎	
分室展示作品	50	手付壺文のれん	
	51	雲上不二のれん	
	52	喜の字文のれん	昭和45 (1970)年
	53	山々	
	54	不動明王	昭和54 (1979)年
	55	和紙讃	昭和24 (1949)年
	56	樹々文黒字帯	

企画展示

「モホス文明予備調査写真展」

会期：平成17年7月1日（金）～平成18年9月5日（火）

《展示目的》

日本ではほとんど知られていない「古代モホス文明」についての予備調査の結果を、世界で初めて展示する。

《展示内容》

南米大陸中部のポリビア国東北部、アマゾン川源流地帯に「モホス大平原」がある。この「モホス大平原」で未知の古代文明が展開した可能性は20世紀初頭から指摘されていた。20世紀後半にはアメリカ、ドイツ、ロシア等の研究者が調査を始め、日本も2000年から予備調査を進め、2005年8月に本格調査が実施された。これまでの3度にわたる予備調査の結果を世界で初めて写真により紹介した。また、空撮した「モホス平原」映像と調査団の副団長による展示解説を映像展示として使用した。開催当初より歴史に興味ある来館者からは好評で

あったが、平成18年3月にテレビで「モホス文明」が放映されて以来、一般の来館者にも興味深くご覧いただけた。

協力：立教大学社会学部、実松克義教授（調査団長）



「飛騨匠 根付展 ～匠の技ここにあり～」

会期：平成18年9月21日（木）～12月10日（日）
作品点数：40点

《展示目的》

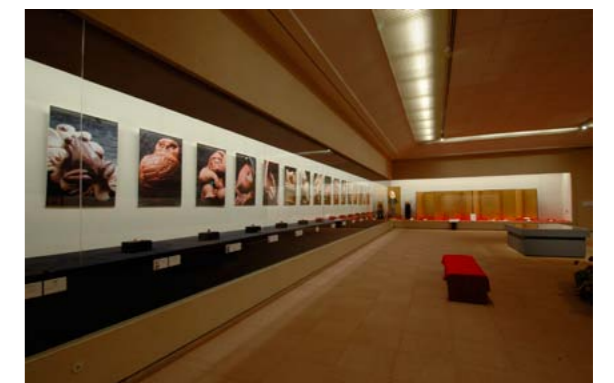
現代の「飛騨の匠」たちに技術や作品を発表する場を提供し、失われつつあった伝統工芸「飛騨根付」を現代に蘇らせ、国内外や次世代に伝える。

《展示内容》

飛騨根付（「根付を飾って楽しむ」と題したディスプレイを含み）約40点、伊勢根付6点が展示された。従来根付展といえば、狭い空間に多数の作品が展示されるのが常だったが、本展では1点1点をじっくり見せるため、ゆとりを持たせて展示し、飛騨根付は作品の背景にその根付の拡大写真（説明的でないもの）を並べて芸術的に見せた。また、江戸時代から飛騨に伝わる「飾物」を引用し、飛騨のオリジナリティー溢れる展示となった。

《後援》

岐阜県、高山市、高山商工会議所



「古代のヴィーナス展」

会期：平成18年2月26日(日)～12月10日(日)
作品点数：合計50点

- メソポタミア 地母神土偶2点
- ギリシャ 女性像1点
- エジプト イシス女神像1点、石彫1点
- インドス 地母神土偶26点
- 中国 石彫1点、陶俑2点
- 中南米 土偶7点、土器2点
- 縄文 土偶6点、レプリカ1点

《展示目的》

ヴィーナス・女性像は、遙か旧石器時代から制作が始まり、女性は子供を産む事から、生産力の象徴として大地とも結びつけられた。豊かな女性像を作り、儀式的の祭器として祀り、大地の豊穡や子孫の繁栄を祈る行為は古くから世界各地で行われている。当館所蔵の世界各地の土偶・石彫や借用資料を通し、世界に共通する人々の心と地域ごとの独自性、古代人の精神性と美意識等を紹介することを目的とした。

《展示内容》

常設展示の一角を企画展コーナーにして世界各地で作られた女性像を一堂に展示した。



「古代のアクセサリー展」

会期：平成19年2月26日(月)～12月17日(月)
作品点数：合計85点

- メソポタミア 印章指輪10点
- ギリシャ トンボ玉ネックレス3点、練りガラス腕輪2点
- 中国 玉製品3点
- 中南米 マヤのヒスイ2点、アンデスの金製品 実物3点、レプリカ8点
- 中間領域 ヒスイ製ペンダント3点、土製耳飾6点
- 縄文 土偶6点、レプリカ1点
- 古墳 勾玉17点、管玉10点、切子玉8点、車輪石3点

《展示目的》

古代の人々にとって、装身具を身に付けるのは装いを楽しむためではなく、魔除けや権力の象徴といった生活の上で重要な意味を持つものだった。医学や気象情報の少ない時代において天災や病を回避するため、様々な素材でお守りを作って身に付けたのがアクセサリーの始まりと考えられている。初めは身近にある石や貝などを利用していましたが、社会の発展と共に遠隔地との交易が盛んになると宝石や金銀など豪華な材料を求めるようになり、権力の表れとなっていった。こうしたアクセサリーの使用目的や特徴、相違点を比較することで古代人の普通の心を感じ取ることを目的とした。

《展示内容》

常設展示の一角を企画展コーナーにして世界各地で作られた装身具を一堂に展示した。



「飛騨33億年の歴史展」

会期：平成19年6月1日(金)～平成19年12月9日(日)
作品点数：9点

《展示目的》

33億年という地質的な古さを持つ“飛騨の歴史”を広く認識してもらうことを目的とした。

《展示内容》

ーグラフィックー

- ・ごあいさつ文
- ・日本最古の石（産業技術総合研究所地質標本館より借用）
- ・放射線と岩石の年齢（産業技術総合研究所地質標本館より借用）
- ・岩石の古さ（年齢）をはかる（産業技術総合研究所地質標本館より借用）
- ・オルドビス紀のコノドント化石（日本最古の化石）（産業技術総合研究所地質標本館より借用）
- ・コノドントについて（産業技術総合研究所地質標本館より借用）

ー実物標本展示ー

- ・上麻生礫岩1点（名古屋大学足立教授より借用）
- ・日本最古の地層の岩石1点（名古屋大学足立教授より借用）
- ・ジルコン1点（広島大学日高教授より借用）

ー配布資料ー

- ・飛騨33億年の歴史展ワークシート

《協力》

- ・名古屋大学博物館教授 理学博士 足立 守先生
- ・名古屋大学博物館教授 理学博士 東田 和弘先生
- ・広島大学大学院 教授 日高 洋先生
- ・独立行政法人 産業技術総合研究所地質標本館



「古代のどうぶつえん展」

会期：平成20年2月26日(月)～12月15日(月)
作品点数：合計46点

メソポタミア 土器5点

アンデス 土器5点、銀製品2点、布製品1点

ギリシャ 土器5点、土偶1点

中国 陶像2点、青銅像1点

インダス 土器1点、土偶6点、石製品3点、青銅像1点

エジプト 青銅像2点、石製像3点、ファイアンス像4点

縄文 土器2点、土偶2点

《展示目的》

人と動物とは古代から深く関わり合ってきた。人々にとって動物は食料・衣服・道具をもたらす自然の恩恵である反面、生活をおびやかす恐怖の対象でもあった。動物は旧石器時代の洞窟絵画にはじまり、各文明の造形物に表現されている。古代人が愛着を持ち兼つ畏敬の念を現した動物の姿を紹介することを目的とした。

《展示内容》

常設展示の一角を企画展コーナーにして、世界各地の動物をモチーフにした遺物を展示した。



「太古の飛騨～旧石器・縄文・弥生・古墳～」

会期：平成20年2月26日(火)～5月18日(日)

作品点数：合計219点

岐阜県教育委員会：考古資料46点

高山市教育委員会：考古資料59点、参考資料6点

飛騨市教育委員会：重要文化財7点、考古資料48点、参考資料4点

飛騨考古学会：考古資料49点

後援：岐阜県、岐阜県博物館協会、高山市、飛騨市、下呂市、下呂市教育委員会、(社)高山市文化協会、Hits FM

協力：岐阜県教育委員会、高山市教育委員会、飛騨市教育委員会、飛騨考古学会

《展示目的》

古くから山の文化を育み、東西文化の中継地点として栄えた太古の飛騨地域を紹介し、出土資料や調査・研究の成果から、文化の流れや地域の特徴に理解を深めてもらう。飛騨地域では太古の飛騨が東西文化の交流地であったことを示す貴重な遺跡や考古資料が発見され、各教育委員会を中心に多大な時間と労力をかけて地道な発掘調査が行われてきた。しかし、一般の目に触れていない資料も数多くあるのが現状である。そのため企画展として普段は展示していない資料も紹介し、飛騨地域の特徴と多様性を子供や大人にも分かり易く発信すること、また、飛騨地域の方々にも地元の歴史を通じてその伝統を知り、現代の飛騨を生きる人々の参考として頂くことを目的とした。

《展示内容》

本企画展では、展示コーナーを旧石器：ブルー、縄文：ピンク、弥生：イエロー、古墳：グリーンに色分けし、それぞれのコーナーに大型イメージイラストと地図年表、写真を配置し、各時代の特徴や様子を比べられるようにした。

また、中央には各時代の参加体験学習コーナーとして、大型帯年表、石器・土器に触れよう、土器の文様をつけよう、火おこし道具、古墳模型などを用意した。



《太古の飛騨展出品リスト》

No	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵
1	琥珀玉	丸山遺跡	縄文時代	5	岐阜県教育委員会
2	土偶	西田遺跡	縄文時代後期	1	岐阜県教育委員会
3	耳飾	西田遺跡	縄文時代後期	1	岐阜県教育委員会
4	耳飾	西田遺跡	縄文時代後期	1	岐阜県教育委員会
5	耳飾	西田遺跡	縄文時代後期	1	岐阜県教育委員会
6	苜形土製品	岡前遺跡	縄文時代中期	1	岐阜県教育委員会
7	翡翠製装身具	荒城神社遺跡	縄文時代	1	岐阜県教育委員会
8	有孔鏢付土器	上岩野遺跡	縄文時代中期	1	岐阜県教育委員会
9	壺形土器	岩垣内遺跡	縄文時代後期	1	岐阜県教育委員会
10	甕	ウバガ平遺跡	弥生時代中期	1	岐阜県教育委員会
11	高杯	中野大洞平遺跡	弥生時代後期	1	岐阜県教育委員会
12	高杯	中野大洞平遺跡	弥生時代後期	1	岐阜県教育委員会
13	甕	中野大洞平遺跡	弥生時代後期	1	岐阜県教育委員会
14	短頸壺	冬頭山崎1号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
15	有蓋高杯の蓋	冬頭山崎1号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
16	有蓋高杯	冬頭山崎1号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
17	鉄剣	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
18	漆塗弓	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
19	小玉	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
20	鉄鏃	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
21	鉄鏃	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
22	石槌床	冬頭山崎2号古墳	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
23	管玉	冬頭山崎1号横穴	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
24	碗	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
25	高杯	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
26	高杯	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
27	甕	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
28	甕	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
29	罎	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
30	甕	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
31	小型壺	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
32	高杯	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
33	杯身	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
34	甕	野内遺跡A地区	古墳時代中期	1	岐阜県教育委員会
35	杯蓋	与島3号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
36	杯身	与島3号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
37	高杯	与島3号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
38	杯	与島3号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
39	返り蓋	与島4号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
40	無台杯	与島4号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
41	罎	与島4号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
42	甕	与島4号古墳	古墳時代後期	1	岐阜県教育委員会
43	ガラス玉	ツルネ遺跡	弥生時代	1セット	高山市教育委員会
44	下呂石原石		旧石器	2	高山市教育委員会
45	メノウ原石	国府町	旧石器	2	高山市教育委員会
46	黒曜石原石	長野県松本市	旧石器	2	高山市教育委員会
47	土偶	垣内遺跡	縄文時代 中期	2	高山市教育委員会
48	土偶	無手無冠遺跡	縄文時代 中期	1	高山市教育委員会
49	土偶	赤保木遺跡	縄文時代 中期	1	高山市教育委員会
50	土偶	垣内遺跡	縄文時代 後期	1	高山市教育委員会
51	ミニチュア土器	垣内遺跡	縄文時代 中期	3	高山市教育委員会
52	ミニチュア土器	垣内遺跡	縄文時代 後期	3	高山市教育委員会
53	石包丁	垣内遺跡	縄文時代 中期	1	高山市教育委員会
54	石包丁	垣内遺跡	縄文時代 後期	1	高山市教育委員会
55	石匙	垣内遺跡	縄文時代 中期	2	高山市教育委員会
56	石錘	垣内遺跡	縄文時代 中期	2	高山市教育委員会
57	パレット石	垣内遺跡	縄文時代	1	高山市教育委員会
58	硬玉製大珠	寺東遺跡	縄文時代	1	高山市教育委員会
59	埋甕	無手無冠遺跡	縄文時代	1	高山市教育委員会
60	クリ	垣内遺跡	縄文時代	1セット	高山市教育委員会
61	トチ	垣内遺跡	縄文時代	1セット	高山市教育委員会
62	ドングリ	垣内遺跡	縄文時代	1セット	高山市教育委員会
63	オニグルミ	垣内遺跡	縄文時代	1セット	高山市教育委員会

No	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵
64	注口土器	垣内遺跡	縄文時代 後期	2	高山市教育委員会
65	浅鉢	垣内遺跡	縄文時代 後期	1	高山市教育委員会
66	土器片	垣内遺跡	縄文時代 後期	1	高山市教育委員会
67	磨製石斧	垣内遺跡	縄文時代	2	高山市教育委員会
68	打製石斧	垣内遺跡	縄文時代	2	高山市教育委員会
69	黒曜石の矢じり	向畑遺跡	縄文時代	1	高山市教育委員会
70	矢じり	寺東・垣内遺跡 B	縄文時代	2	高山市教育委員会
71	矢じり	寺東・垣内遺跡 C	縄文時代	2	高山市教育委員会
72	有孔磨製石鏃	向畑遺跡	弥生	1	高山市教育委員会
73	素文鏡 (2号)	冬頭王塚古墳	古墳	1	高山市教育委員会
74	玉製品	冬頭王塚古墳	古墳	4	高山市教育委員会
75	管玉 (2号)	冬頭王塚古墳	古墳	2	高山市教育委員会
76	玉類	桧山横穴遺跡	古墳	1セット	高山市教育委員会
77	玉類	桧山横穴遺跡	古墳	1セット	高山市教育委員会
78	青銅耳飾り	桧山横穴遺跡	古墳	2	高山市教育委員会
79	鉄剣	赤保木古墳群5号古墳	古墳	1	高山市教育委員会
80	大型蛤刃石斧	国府町 西の野	弥生時代	1	高山市教育委員会
81	扶入柱状片刃石斧	国府町 蓑輪	弥生時代	1	高山市教育委員会
82	土器 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
83	台付き土器 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
84	釣手形土器 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
85	注口形土器 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
86	玉類 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
87	石棒 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
88	石冠 (国指定重要文化財)	中野山越遺跡	縄文時代	1	飛騨市教育委員会
89	加工痕のある木片	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
90	植物化石 (マツブツリ)	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
91	コア	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
92	細石刃	宮ノ前遺跡	旧石器	2	飛騨市教育委員会
93	削器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
94	角錐状石器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
95	国府型ナイフ形石器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
96	ナイフ形石器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
97	尖頭器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
98	先刃搔器	宮ノ前遺跡	旧石器	1	飛騨市教育委員会
99	蛇紋岩		現在	2	飛騨市教育委員会
100	ヒスイ		現在	2	飛騨市教育委員会
101	表裏文土器	宮ノ前遺跡	縄文時代 草創期	1	飛騨市教育委員会
102	土器片	宮ノ前遺跡	縄文時代 草創期	2	飛騨市教育委員会
103	石鏃	宮ノ前遺跡	縄文時代 早期	1	飛騨市教育委員会
104	有舌尖頭器	宮ノ前遺跡	縄文時代 早期	1	飛騨市教育委員会
105	ト口ト口石器	宮ノ前遺跡	縄文時代 早期	1	飛騨市教育委員会
106	細久保式土器 (押型文土器)	宮ノ前遺跡	縄文時代 早期	1	飛騨市教育委員会
107	沢式土器片	宮ノ前遺跡	縄文時代 早期	1	飛騨市教育委員会
108	北陸系土器 (完形)	堂ノ前遺跡	縄文時代 前期前半	1	飛騨市教育委員会
109	西日本系土器片	宮ノ前遺跡	縄文時代 前期	1	飛騨市教育委員会
110	東日本系土器片	宮ノ前遺跡	縄文時代 前期	1	飛騨市教育委員会
111	石製耳飾り	宮ノ前遺跡	縄文時代 前期	1	飛騨市教育委員会
112	信州系土器 (完形)	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
113	北陸系土器 (完形)	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
114	埋甕 (完形)	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
115	動物意匠文土器	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
116	石皿	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
117	すり石	堂ノ前遺跡	縄文時代 中期	1	飛騨市教育委員会
118	関東系土器 (完形)	堂ノ前遺跡	縄文時代 後期	1	飛騨市教育委員会
119	注口土器	堂ノ前遺跡	縄文時代 後期	1	飛騨市教育委員会
120	金清神社遺跡出土土器	塩屋金清神社遺跡	縄文時代 後期	1	飛騨市教育委員会
121	北陸系土器 (完形)	家ノ下遺跡	縄文時代 晩期	1	飛騨市教育委員会
122	漆塗りのくし	宮ノ前遺跡	縄文時代 晩期	1	飛騨市教育委員会
123	石冠	家ノ下遺跡	縄文時代 後期～晩期	5	飛騨市教育委員会
124	御物石器	家ノ下遺跡	縄文時代 後期～晩期	2	飛騨市教育委員会
125	石棒	塩屋金清神社遺跡	縄文時代 後期～晩期	4	飛騨市教育委員会
126	たたき石	塩屋金清神社遺跡	縄文時代 後期～晩期	1	飛騨市教育委員会
127	砥石	塩屋金清神社遺跡	縄文時代 後期～晩期	1	飛騨市教育委員会
128	ナイフ形石器	大林遺跡 A地点	旧石器	9	飛騨考古学会

No	資料名	遺跡名	時代	点数	所蔵
129	翼状剥片コア	大林遺跡 A地点	旧石器	1	飛騨考古学会
130	尖頭器	大林遺跡 C・D地点	旧石器	10	飛騨考古学会
131	コア	池の原遺跡 H地点	旧石器	2	飛騨考古学会
132	フレーク	池の原遺跡 H地点	旧石器	2	飛騨考古学会
133	ナイフ形石器	池の原遺跡 H地点	旧石器	2	飛騨考古学会
134	ナイフ形石器	池の原遺跡 A地点	旧石器	1	飛騨考古学会
135	ナイフ形石器	池の原遺跡 C地点	旧石器	1	飛騨考古学会
136	スクレイパー	池の原遺跡 E地点	旧石器	2	飛騨考古学会
137	スクレイパー	池の原遺跡 A地点	旧石器	2	飛騨考古学会
138	ブランク	池の原遺跡 C地点	旧石器	1	飛騨考古学会
139	細石器 (マイクロブレード)	池の原遺跡 C地点	旧石器	3	飛騨考古学会
140	ブランク	池の原遺跡 B地点	旧石器	2	飛騨考古学会
141	スキースポール	池の原遺跡 B地点	旧石器	1	飛騨考古学会
142	細石刃核	池の原遺跡 C地点	旧石器	1	飛騨考古学会
143	ブレード	池の原遺跡 C地点	旧石器	1	飛騨考古学会
144	大型石器	池の原遺跡 C地点	旧石器	1	飛騨考古学会
145	扁平片刃石斧	高山市江名子	弥生時代	1	飛騨考古学会
146	打製石斧	森下遺跡	弥生時代	1	飛騨考古学会
147	大型蛤刃石斧	森下遺跡	弥生時代	1	飛騨考古学会
148	石包丁	森下遺跡	弥生時代	2	飛騨考古学会
149	須恵器	山口町松洞出土	弥生時代	1	飛騨考古学会
150	石冠	森下遺跡	縄文時代晩期	1	飛騨考古学会

講演会

「縄文親子講座」

日時：平成18年6月18日（日） 13:30～15:00

講師：岡田康博先生（青森県文化財保護課三内丸山遺跡対策室室長）

場所：地下1階 人類史展示室前

参加人数：65名

講座概要：縄文文化について、三内丸山遺跡や他の遺跡の映像（パワーポイント）を見ながら、質問形式で、年代、衣食住、土器の使用法、縄文の生活などについて詳しくお話をいただいた。その後、実物資料の説明、実際に子供たちが縄文土器に触れる体験も行った。



「のぞいてみよう！たまご博士の不思議ワールド～みてみよう！博士の恐竜コレクション～」

日時：平成18年8月12日（土） 10:30～12:40

講師：吉村卓三先生（動物学博士・動物作家）

場所：地下1階 特別展「隕石・恐竜展」展示室前

参加人数：90名

講座概要：世界一のタマゴコレクター吉村卓三博士をお呼びして、動物や卵のお話をしていただいた。小学生1年生から6年生までの児童とその保護者、同伴の未就学児及び当日の来館者が飛び入りで参加するなど、当初の予定の二倍ほどの聴講者数だった。吉村博士がマルゼン動物王国の園長でいらした頃の動物との写真や、世界の動物園を歴訪した時の写真を交えながら、ダチョウにまつわるエピソードや世界最大最小のタマゴの紹介など、終始笑いの絶えない講演会だった。

心配されていた、児童及び未就学児の集中力切れなどは無く、最後まで集中してお話を聞いている子供たちの表情が印象的だった。

講演会最後には、恐竜の皮膚化石やタマゴに触れさせてもらった子供たちが、喜んで保護者に報告に行く姿などほほえましい場面があった。また、当日の参加者全員に吉村博士よりダチョウのタマゴと恐竜のタマゴ化石の破片のプレゼントがあった。

講演会の様子



「光る!!ピラミッド作りとエジプト博士のおはなし」

日時：平成18年10月14日（土） 13:30～16:00

講師：村治笙子先生（エジプト文明研究家）

場所：工作室

参加人数：14名

講座概要：高山市教育委員会生涯学習課主催の土曜教室として講座を実施した。村治先生よりエジプト文明のお話をいただいた後、LEDと透明な樹脂を使い、エジプト文明に関する模様の入った光るピラミッド作りと、エジプトのファッション体験を行った。



「エジプト博士の展示解説 Part1」

日時：平成19年6月2日（土） 14:00～15:00

講師：村治笙子先生（エジプト文明研究家）

場所：地下2階 特別展「エジプト展」展示室内

参加人数：150名

講座概要：エジプト展示室内にて、貴重な考古資料とカラー写真やイラスト満載のグラフィック、模型を見ながら詳しく解説をいただいた。最後には質疑応答の時間もあり、活発な質問に先生がお答え下さった。



「エジプト博士の展示解説 Part2」

日時：平成19年8月4日（土） 14:00～15:00

講師：村治笙子先生（エジプト文明研究家）

場所：地下2階 特別展「エジプト展」展示室

参加人数：150名

講座概要：岐阜県博物館協会公開講座の一環として開催した。貴重なエジプトの壁画や遺跡の写真、イラストを豊富に使ったグラフィックと実物資料を見ながら、経験豊かな先生の体験談もふまえ、古代エジプトから現代までのエジプトの魅力を伝えていただいた。



出張美術館

出張美術館実施にあたって

教育基本法も改正され、更に博物館法も改正された現在、博物館は大きな転換期を迎えている。文化に対する関心の高まりにともなった鑑賞の機会の拡大、歴史や文化に対する知的欲求の充足をはじめ、生涯学習の観点からも美術館・博物館の果たすべき役割は一段と重要なものとなっている。そのような中で子どもたちに対する心の教育が叫ばれる今日、その必要性に応じた活動が望まれている。子どもたちがこれからの社会の中で生涯にわたり、心豊かに、主体的、創造的に生きていくことが出来る資質や能力を身につけるためには、文化財を見たり、触れたりする鑑賞教育や体験学習がきわめて有効と考える。そのためには美術館・博物館が学校教育との連携を重視し、学芸員と教育者が恒常的に交流し、連携することが不可欠である。当館ではこれらを鑑み、各小・中学校教諭との打ち合せの下、5年間に渡り出張美術館を開催してきた。又、高齢者福祉施設に対する出張美術館では、IT+五感を活用した回想法をはじめ、平成18年には博物館が行なう音楽療法も取り入れた。高齢化社会を見据え、施設からの外出が不可能な高齢者に対する学習支援活動として積極的に取り組んできた。地域に親しまれ、貢献できる博物館を目指し行なってきた本事業の継続的な活動が望まれている。

出張美術館実施施設

平成18年度

- ①清見小学校
日時：10月10日 10:00～10:45（3限）
人数：1クラス 35名
- ②中山中学校
日時：10月12,13日 9:30～11:20（6限）
人数：4クラス 174名
- ③東山中学校
日時：10月20日 13:30～15:25（5,6限）
人数：2クラス 80名
- ④丹生川中学校
日時：10月23日 9:30～11:20（5,6限）
人数：2クラス 49名
- ⑤小坂小学校
日時：10月27日 13:50～15:00（5,6限）
人数：1クラス 25名
- ⑥北小学校
日時：11月13,14日 9:25～14:40（2,3,4,5限）
人数：4クラス 134名
- ⑦松倉中学校
日時：11月20,21日 10:30～12:20（3,4限）
人数：4クラス 160名
- ⑧特別養護老人ホーム シニアホーム高山
日時：11月23日 14:00～15:00
人数：50名
- ⑨特別養護老人ホーム 南風園
日時：11月24日 13:00～14:00
人数：40名
- ⑩特別養護老人ホーム 南風園
日時：11月24日 13:00～14:00

人数：40名

- ⑪身体障害者療護施設社会福祉法人 飛騨慈光会 飛騨うりす苑
日時：11月27日 14:00～15:00
人数：15名
- ⑫特別養護老人ホーム 新宮園
日時：11月30日 14:00～15:00
人数：40名
- ⑬特別養護老人ホーム 豊楽園
日時：12月4日 14:00～15:00
人数：30名
- ⑭国府小学校
日時：12月5日 10:00～12:00（3,4限）
人数：2クラス 77名
- ⑮江名子小学校
日時：12月11日 10:40～12:15（3,4限）
人数：2クラス 51名
- ⑯南小学校
日時：12月12日 9:25～12:15（2,3,4限）
人数：3クラス 89名
- ⑰西小学校
日時：12月14日 10:30～12:05（3,4限）
人数：2クラス 42名
- ⑱丹生川小学校
日時：12月15日 9:20～10:15（2限）
人数：1クラス 39名

平成19年度

- ①新宮小学校
日時：10月3日 10:30～15:30（3,4,5,6限）
人数：2クラス 77名
- ②東小学校

- 日時：10月9日 9:15～12:05 (2,3,4限)
人数：3クラス 103名
- ③山王小学校
日時：10月10日 9:25～12:15 (2,3,4限)
人数：3クラス 111名
- ④丹生川中学校
日時：10月16日 9:30～11:20 (2,3限)
人数：2クラス 48名
- ⑤小坂小学校
日時：10月18日 13:50～15:00 (5,6限)
人数：1クラス 16名
- ⑥東山中学校
日時：10月19日 9:30～14:20 (2,3,4,5限)
人数：4クラス 143名
- ⑦丹生川小学校
日時：10月22日 13:50～14:35 (5限)
人数：1クラス 35名
- ⑧南小学校
日時：10月26日 9:15～12:15 (2,3,4限)
人数：3クラス 85名
- ⑨北小学校
日時：11月13日 8:30～12:15 (1,2,3,4限)
人数：4クラス 49名
- ⑩中山中学校
日時：11月19日 9:30～14:30 (2,3,4,5限)
人数：4クラス 128名
- ⑪江名子小学校
日時：11月20日 10:40～12:15 (3,4限)
人数：2クラス 154名
- ⑫久々野小学校
日時：11月22日 10:45～12:20 (3,4限)
人数：2クラス 41名
- ⑬三枝小学校
日時：11月26日 13:35～11:20 (3限)
人数：1クラス 39名
- ⑭松倉中学校
日時：11月27日 8:30～12:20 (1,2,3,4限)
人数：4クラス 160名
- ⑮花里小学校
日時：12月3日 9:15～11:10 (2,3限)
人数：2クラス 60名
- ⑯国府小学校
日時：12月7日 9:20～12:10 (2,3,4限)
人数：3クラス 91名
- ⑰西小学校
日時：12月11日 10:30～12:15 (3,4限)
人数：2クラス 45名
- ⑱宮小学校
日時：12月13日 14:05～14:50 (5限)
人数：1クラス 21名



体験学習

【独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動】

□飛騨部門

飛騨の宝（化石・砂金）を探しに行こう！

期 間：平成19年7月21日
7:30受付 8:30～15:00

定 員：22名

参加費：150円

場 所：高山市荘川町（であいの森・六蔵）

対 象：小学4年～中学生

目 的：地質学的体験を通して身近な場所で様々な鉱物や化石が見つかることを学ぶことにより、自分たちが住む地域や、自然科学への興味関心を高める。

内 容：高山市荘川町にある中生代の地層が露出している場所に行き、化石を採取した。同じく六蔵川で砂金の採取方法を学び、実際にパンニングをした。

評 価：保護者の方が興味関心を持たれていた。

開催状況：雨天のため近くの建物をお借りして化石クリーニングを実施した。初めて体験する子供も多く、最初は慣れない様子だったが、道具の扱い方や岩石の割り方のコツを教えると真剣な表情で取り組んでいた。

課 題：梅雨の時期ということもあり、雨天のため露頭での化石・屋外での砂金採取ができなかった。また、事前の打ち合わせ不足が目立ったことや、砂金に関しては確実に採取できる場所を探す必要がある。

今後の活用：今後実施する場合は、化石採取と砂金採取を別々に企画して行いたい。



【高山市教育委員会 生涯学習課主催 土曜教室】

□古代からのメッセージ部門

固体燃料ロケットを打ち上げよう！ (モデルロケット作り)

期 間：平成18年8月26日 12:20～17:00
平成19年11月10日 12:00～17:00

参加者：36名

参加費：無料

場 所：原山スキー場、キンキロッジ

対 象：小学4年生～中学生とその保護者

目 的：モデルロケットの作成、打ち上げ、構造を学ぶことにより、宇宙や宇宙飛行士への興味関心を促す。

内 容：モデルロケット作成と打ち上げを行った。

評 価：ロケット作成過程において子供たちにとって難易度の高い作業も保護者の手助けにより達成することができた。また、打ち上げでは保護者とともに自分が作成したロケットが空高く打ち上げられ参加者一同で喜ぶことができた。

課 題：ロケットの構造などの理論の理解に個人差が見られたので、理解度を上げる工夫が必要である。



電子工作に挑戦～電子オルゴール編～

期 間：平成18年12月2日 10:00～12:00
平成19年8月25日 13:00～16:00

参加者：

参加費：350円 (H18)、400円 (H19)

場 所：工作室

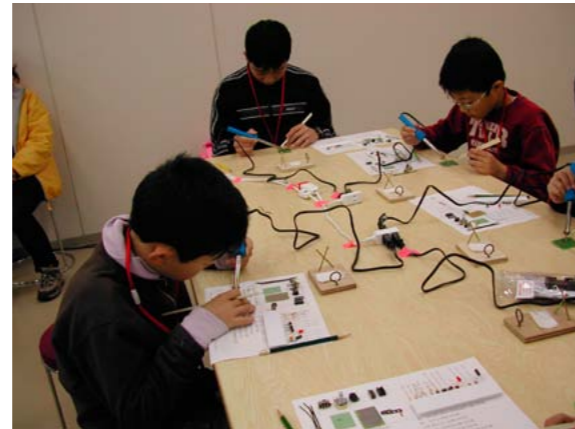
対 象：小学4年生～中学生

目 的：電化製品など、日々使用しているものの中身がどうなるのかを簡単な回路を作ることで、理解を深めるとともに、電気(物理)の分野に興味を抱いてもらう。

内 容：入門用電子工作キットの部品を一つ一つ説明し、

半田付けをした。
評 価：時間的な余裕もあり、回路の工数も少なかったため予定より早く進行できた。また、全員が完成し、やけどをした人もいなかった。普段使用することもなく危険だという理由でなかなか使った経験のない「半田ごて」を使用しての体験学習は、参加者や保護者からも高い評価を得ることができた。

課 題：工程時間の縮小と簡略化と理解増進を図っていききたい。



サイエンスショー

期 間：平成19年10月20日 10:30～11:30
平成20年3月15日 10:30～12:00

参加者：49名

参加費：無料

場 所：工作室

対 象：小学1年生～

目 的：実験を通して科学を身近なものとして感じ、興味関心を持たせる。

内 容：大気圧や空気の流動する力を利用し、ショー形式で実験を行い解説をつけた。

評 価：実験そのものは面白く感じたと思われるが、理論については理解度が異なった。

課 題：理論の理解度を一定線まで引き上げるための創意工夫が必要である。

今後の活用：登場人物を固定し、シリーズ化していきたい。



プラネタリウム作りと夏の星空のお話

期 間：平成18年7月8日 10:30～12:00

参加者：25名

参加費：300円

場 所：工作室

対 象：小学3年生～中学生

目 的：プラネタリウム作りと夏の星空の話を通して宇宙への興味関心を持たせる。

内 容：印刷された画用紙を切り抜いて穴をあけて組み立て、プラネタリウムを作った。夏の三大三角形などの天体や七夕まつわる物語などを紹介した。

評 価：細かな作業を経て完成したプラネタリウムで星を光らせて達成感を持たせられたことが良かった。夏の星空の話聞くことにより実際の星空に思いを持たせることが出来た。

課 題：平面を組み合わせて立体を作る作業が少々難しいようであった。コツをつかめるよう説明を工夫したい。



宇宙線を見てみよう！

期 間：平成18年4月29日、平成19年10月13日
10:30～12:00

平成18年8月15日、平成19年8月13日
11:15、13:15、15:15

参加者：計50名

参加費：無料

場 所：工作室

対 象：小学4年生～中学生

目 的：宇宙線という今まで知らなかったものについて学び、感じることによって新しい世界に興味関心を持つきっかけを提供する。

内 容：霧箱(手作り宇宙線観測器)を作って目に見えない宇宙線の飛跡を観察した。

評 価：参加者全員が宇宙線を観察することが出来た。宇宙線の飛跡が観測できる理論(霧箱の仕組みなど)の理解について難しいところがあった。

課 題：観察がメインの体験であるので、いかに観察できたことを印象づけられるかが今後の検討事項である。



□飛騨部門

化石をさがしてみよう！

期 間：平成18年6月10日
10:00受付 10:30～12:30

参加者：9名

参加費：100円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室(サンクンガーデン)

対 象：小学4年生～中学生

目 的：身近な地域から貴重な化石が産出していることや、化石を取り出すことの大変さを学ぶ。更に、実際に自らの手で化石を取り出すことの感動を通して飛騨地域についての興味・関心を引き出す。

内 容：講師(化石同定)：杉山政広(県立池田高校教諭)が展示室の資料や学習化石セット(触れるもの)を使って地層や化石についての説明、飛騨地域の化石(貝化石・植物化石・恐竜化石など)についての説明をして下さった。高山市荘川町(尾

上郷)から採取した岩石から化石を見つけ出し、先生に名前を付けて頂いた。

評価: 先生の話が大変わかりやすく、参加した子供たちも興味を持って熱心に取り組んでいた。また、保護者の方も子供たちと一緒に取り組んでおられ、感想にも「大変わかりやすく、興味深い内容だった」とあった。

課題: 先生だけに頼るのではなく、スタッフも化石を見る目を養う必要がある。時間が経つにつれて子供によって差が広がるため、できるだけ全員が最後まで集中できるように工夫が必要。

今後の活用: 化石に直接触れる体験学習は、子供たちの興味関心を促すものとしてはとても有効だと考えられるため、今後も工夫しながら続けていきたい。

光る恐竜の歯のレプリカを作ろう!

期間: 平成18年6月17日
平成19年6月16日
10:00受付 10:30~11:15

参加者: 16名 (H18)、8名 (H19)

参加費: 400円

場所: 特別展「隕石・恐竜展」展示室前、地質科学より見た飛騨展示室、工作室

対象: 小学4年生~中学生

目的: LEDを使用して光る恐竜の歯のレプリカを作ることにより、その化石についての学習を深める。化石や古生物・自然科学に対する興味関心を促す。

内容: レプリカについて簡単に説明した後レプリカを作成、硬化を待つ間に企画展示室内を解説した。

評価: 光る恐竜の歯のレプリカということで子供たち大変人気があり、多くの応募があった。

課題: スタッフのスキルアップが必要。

今後の活用: 人気のある体験学習なので今後も機会を捉えて実施していきたい。



恐竜ゼミナール2006 (化石クリーニング体験)

恐竜博士に質問しよう!

期間: 平成18年8月19日
10:30~12:30

参加者: 10名

参加費: 100円

場所: 特別展「隕石・恐竜展」展示室・サンクンガーデン

対象: 小学4年生~中学生 (高山市内)

目的: 濱田隆士先生 (東京大学名誉教授) による展示解説 (特別企画展「隕石・恐竜展」) を実施し、子供たちからの質問を受けることにより、学校などでは知ることのできない最新の研究内容等を知る機会とし、隕石や恐竜に対する興味関心を促す。また、身近な飛騨地域から採取した中生代の岩石から化石を探し出す体験を通し、身近な地域から貴重な化石が産出していることや化石を取り出すことの大変さを学び、飛騨地域についての興味関心を引き出すことを目的とする。

内容: 濱田隆士先生 (東京大学名誉教授) による展示解説 (特別企画展「隕石・恐竜展」): 30分
濱田隆士先生による質疑応答・最新情報: 10分

化石クリーニング体験 (高山市荘川町から採取した中生代の化石を含む岩石を使用): 60分

評価: 参加人数は少なかったが、最後まで解説をしっかりと聞いていた。化石クリーニングでは先生も一緒になって楽しんでおり、とてもいい雰囲気を実施できた。貝などの状態のよい化石も多く見つけ、子供たちも達成感を感じていた。後片づけや清掃も最後まできちんとできた。

課題: 先生の話の内容が子供たちには少し難しかったようなので、先生との事前のやり取りをしっかりとりたい。参加者のプレート回収が抜けていたので、打ち合わせの段階でもっとしっかりと準備したい。

今後の活用: 先生が子供たちの反応をととても喜んで下さった。今後も化石クリーニングのような実物資料を使った学習を考えていきたい。最新の学説による内容のため、驚きの連続だった。今後も子供たちが最新の研究に触れられる体験学習を実施したい。

レプリカでアクセサリー作り!

期間: 平成18年9月2日
平成19年11月17日
10:00受付 10:30~11:50

参加者: 15名 (H18)、17名 (H19)

参加費: 100円

場所: 地質科学より見た飛騨展示室・工作室

対象: 小学1~3年生

目的: 古生代から新生代までの古生物のレプリカを作成し、そのレプリカでアクセサリーを作る。これらを通してそれぞれの古生物の特徴や役割を学ぶとともに化石や古生物への興味関心を高める。

内容: 飛騨展示室にある化石を見ながらどのような生き物がいたかを学習し、工作室で学んだ古生物のうち1人2種類を選んでレプリカを作成。レプリカに環と紐を通しネックレスを作った。(但し希望者はキーホルダーにした)

評価: 作業内容が簡単なので子供も楽しんで作っていた。保護者から「こんなにいいものを作れるとは思わなかった」との感想があった。また古生物の解説シートも充実させることができた。

課題: 一度に作業できる人数が限られているので順番待ちの時間を活用できるようにする。

今後の活用: 学校などの団体対応ができるように型の数を徐々に増やしていきたい。



紙漉き体験とランプシェード作り!

期間: 平成18年10月7日
10:00受付 10:30~12:00

参加者: 10名

参加費: 400円

場所: 地質科学より見た飛騨展示室・工作室

対象: 小学4年生~中学生

目的: 紙漉き体験を通して紙のできるまでを学ぶ。また、漉いた紙でランプシェードを作り、物を作るために欠かせない資源について考える。

内容: 飛騨展示室で紙のできるまでを学習シートを使用して学び、工作室で紙漉きをした。紙を乾燥させている間に傘の骨組みを作り、乾燥した紙を骨組みにとめてランプの上にかぶせた。

評価: 「紙ができるまでにこのような手間がかかっていることをはじめて知りました」という声があった。楽しみながらできたようである。

課題: 一度に多くの電気を使用したためブレーカーが落ちてしまい、乾燥させるのに時間がかかった。

今後の活用: 紙作りが資源・環境を考える機会となるため、今後も開催したい。

体験学習フェア!

期間: 平成19年2月17日
10:30~12:00、13:30~15:00

参加者: 19名

参加費: 200円

場所: 光記念館案内所

対象: 小学3年生~中学生

目的: 様々な体験を通して楽しく学んでもらう場にするとともに、光記念館の広報宣伝を行う。

内容: アンモナイトのレプリカ作り、古生物スタンプ作り、カード作り、恐竜マグネット作り。

評価: 子供たちから「サングのことなど知らなかった

ことがわかって良かった」また「紙が木の繊維からできていることを初めて知りました」などの声を聞いた。

課題：人材の育成とそれぞれの体験学習のスキルアップが必要。

今後の活用：休館中でも案内所を活用し、子供たちが楽しく学習する場を提供できるようにしていきたい。

恐竜パズルを作る

期間：平成19年5月12日
10:30～12:30

参加者：14名
参加費：150円
場所：飛騨展示室・工作室
対象：小学3～4年生

目的：恐竜と恐竜の生きていた環境（背景）の学習とパズル作りを通して古生物に対する興味関心を促す。

内容：ティラノサウルスの説明の後、土台に恐竜を描き、色をつけてオリジナルパズルを作成した。

評価：化石には残らない生きていたときの色を想像しながら、子供たちは楽しそうに色塗りをしていった。

課題：作業の進み具合がまちまちなので、時間の空いた子の為に復習の意味も兼ねてクイズなど何か学習できるものを準備しておく。またスタッフが不慣れなこともあり、まわりとの連携がとれていなかった。

今後の活用：スタッフのスキルアップをし、今後もヴァリエーションを増やして実施したい。

剣な目をしながらも楽しそうに作成していた。
課題：事前に作成しておいた浮沈子の重さや浮力が一定せず完成の精度にバラツキがでたため、秤を使用するなどして1g以下の精度で部品を作る必要がある。

今後の活用：参加者の反応も良かったため今後も実施していきたい。



恐竜ゼミナール2007

～ティラノの最新情報と化石クリーニング体験～

期間：平成19年8月11日
13:30～15:30

参加者：6名
参加費：100円
場所：地質科学より見た飛騨展示室・サンクンガーデン

対象：小学4年生～中学生

目的：恐竜博士・濱田隆士先生のお話と、岩石から化石を掘り出す体験を通して、子供たちの古生物に対する興味を促す。

内容：濱田隆士先生からティラノサウルスについての最新情報をお話いただき、荘川町で採れた中生代の岩石を使って化石クリーニングをした。

評価：お盆前ということで応募者が少なかつたため、開催日の設定を考える必要がある。

課題：夏の晴れた日の外での体験学習は講師、参加者の体調を考慮し、場所の変更・水分補給などの対応をする必要がある。

今後の活用：今後も続けていきたい。



□人類史部門

夜光る！

エジプトのキーホルダーと香りのキャンドル作り

日時：平成18年6月24日（土）
10:00～12:30

参加者：10名
参加費：200円
場所：工作室

対象：高山市小学校3年生以上

目的：古代エジプトについて学習し、ヒエログリフとエジプトの模様を描くキーホルダー作りと、聖なる花として重宝されたロータスのキャンドル作りによって、エジプト文明への関心を促す。

内容：プラ板にヒエログリフで自分の名前、エジプトの神様や関連した模様を描き、オーブントースターで焼いてキーホルダーを作った。また、同時に湯煎で溶かした蝋にクレヨンで色をつけ、型に流し込んでロータスのキャンドルを作った。

評価：募集に対して定員をはるかに越える申し込みが

あった。自分の名前をヒエログリフで描いたり、キャンドルを作ることに意欲的に取り組んでいた。

課題：2つの体験学習を同時に進行したが、個々の進行状況にばらつきがあったため、対応しきれない部分もあった。



光る!!ピラミッド作りとエジプト博士のおはなし

期間：平成18年10月14日（土）
13:30～16:00

参加者：14名
参加費：200円
場所：工作室

対象：小学校3年生以上

目的：エジプトに関する絵柄の入った光るピラミッドの制作、エジプトのファッションの体験等を通してエジプトへの興味関心を高める。先生のおはなしを聞いてエジプトへの理解を深める。

内容：村治先生によるエジプトの解説。LEDと透明な樹脂を使い、エジプトに関する模様の入った光るピラミッドを作った。

課題：透明な樹脂の混ぜ方がうまくできておらず、硬化しないことがあった。又、欠席者がいたためグループの人数にばらつきがでた。



光るピラミッド作り&エジプト体験フェア (ストラップとミイラペン作り)

日時：平成19年4月21日(土)
10:30～12:00、14:00～15:30

参加者：38名
参加費：300円

場所：光記念館案内所
対象：市内小3～中学生

目的：エジプト文明を学習し、エジプトに関連付けたグッズを作成することによって、6月から開催される「エジプト展」への興味を促す。

内容：エジプト文明の説明を聞き、
①LEDを使った光るピラミッドの作成
②ストラップの作成（プラバンにエジプトに関連した絵柄を描き、トースターで焼いて作成）
③ミイラペンの作成（麻紐を巻いてあるペンに毛糸を巻き、猫や犬顔を粘土で作成）を行った。

評価：募集人数よりも応募がたくさんあり人気だった。光るピラミッドは全員が無事に作成し、他の物に関しても意欲的に取り組み、個々のオリジナリティの高い物ができあがった。

課題：小学校3年生のレベルに合わせたエジプト文明の説明をしたが、保護者の方より「もう少し詳しく知りたい」という声があったのでレベル

アップした内容の検討が必要。小学校3年生～中学校2年生までの幅広い年齢層の参加だったので、終了時間に個人差があり、早く終了した人への対応の検討が必要。



7色に光る!!ピラミッド&ミイラペン作り

日時：平成19年7月14日(土)
10:30～12:30

参加者：29名
参加費：250円

場所：企画展示室及び工作室
対象：小学校3年生以上

目的：展示解説や資料の観賞などを通してエジプトについて学習し、その後学習した内容を踏まえて光るピラミッドやミイラペンを作成することで、エジプトへの理解を深める。

内容：エジプト展の展示解説を聞き、LEDとホビーキャストを使った7色に光るピラミッド（ヒエログリフなどの模様入り）とミイラペンを作成した。

評価：展示解説を聞いてから体験学習を行ったことで、多くの参加者がエジプトに関して興味を示してくれていた。また、ホビーキャスト用の型を増やしたことで多くの参加者を受入れることが出来るようになった。

課題：子供たちにはミイラペンの巻き方が難しかった。ピラミッド作りでは、各テーブル6人を1人ずつ対応していたので、待ち時間が長く感じられたようであった。



美術部門

キラキラ光る万華鏡をつくらう!～オリジナルバージョン～

日時：平成18年4月15日(土)
受付10:00 教室10:35～12:00

参加者：18名 ※定員12名

場所：工作室

対象：小学4年生～中学生

参加費：100円

目的：身近な素材を利用することにより創意工夫、物尊(リサイクル)の視点を養う。鏡にうつる光の反射が鏡の枚数によってどのように変わるかを観察し体験する。世界にひとつのオリジナル万華鏡をつくり光の芸術を楽しむ。

内容：簡単に万華鏡の説明をした後に、3面鏡の万華鏡を作った。3面のうち1面を目隠しして2面鏡も見ること

によって、鏡の枚数によって模様の違いを体験した。

最後に使用した身近な素材の正体をあかした。

評価：他の施設での土曜教室が無かった為か12名募集のところ24名の希望があった。躊躇したが全員受け入れることに決めてからキャンセルがあり、当日は18名だった。予定の時間が余るほど全体的にはスムーズに進められた。3面鏡と2面鏡を同時に体験し、オブジェクト(模様)を好きなように変えられるので参加者は満足だったと思う。

課題：万華鏡の筒で少し大きさのずれが生じたので、次回までに材料の検討が必要。予定の終了時間より30分早く終わってしまい参加者の殆どが駐車場で迎えを待つことになってしまったので、時間の検討と対策を考える必要がある。

今後の活用：万華鏡は人気があるので、今後は今回と異なったタイプを研究して色々な万華鏡を作りたい。



アートレターづくり

日時：平成18年7月15日(土)
10:00受付開始 10:30～12:00

参加者：7名 ※定員16名

場所：工作室

対象：小学校3年生～中学生

参加費：100円

目的：筆を使いゆっくと線を描く絵手紙で、気持ちのこもった手紙をつくる。

内容：半紙を藍色に塗り星を描いて夜空を、ハガキに黄色・黄緑・緑の水玉を描いて花畑を表現した。絵馬形の台紙に薄墨や濃い墨や絵の具を用いてひまわりを描いた。

評価：定員の数16名に対して7名の参加者であったが、参加者と講師の間でサポートするのにスタッフ3名はちょうど良かった。墨汁など数に限りがあるものを、参加者同士譲り合って使

用していた。

課題：今回は題材が3種類と多く、参加者が戸惑ってしまう場面があったので、題材を少なくしペースをゆっくりにしたい。また練習と本番で描く絵が違おうと緊張してしまったので同じ物にしていきたい。

講師と参加者が違う台紙を使い、墨の滲み具合が異なった為、次回は同じ材料を使うようにしたい。

今後の活用：リピーターが参加することがあるので、題材をかえながら続けていきたい。

大人向けの絵手紙体験も考えていきたい。



おしゃれな江戸のストラップ？！

オリジナル根付作りで飛騨の匠にチャレンジ！

日時：平成18年10月21日（土）

12:30受付開始 13:00～16:30

参加者：10名 ※定員30名

場所：工作室

対象：高山市全地区の小学5年生～中学生

参加費：1000円

目的：根付の良さを現代の子供達に知って頂く。

内容：根付職人からの直接指導で、小さな木を彫ってオリジナル根付を作って頂く。

評価：職人の方々が子供たちに手とり足とり教える姿に、参加した保護者の方から「参加してよかった」等の声を頂いた。子供達が大変興味を持って根付作りに取り組んでいた。

課題：他の施設での土曜教室と重なってしまい、参加人数が少なかった。

今後の活用：開催時期を検討する必要がある。



年賀状と和風かべかけづくり

日時：平成18年11月25日（土）

10:00受付開始 10:30～12:00

参加者：16名 ※定員16名

場所：工作室

対象：小学1年生～中学生

参加費：100円

目的：筆を使いゆっくりと線を描く絵手紙で、気持ちのこもった手紙をつくる。

内容：墨を水で薄めることで、墨の色・にじみを楽しんでいただく。

好きな言葉や自分の名前などをハガキに書き、それに因んだ絵を描く。

B5サイズの凧に来年の正月をイメージした絵や言葉をかく。

評価：全体の平均が3年生で、題材が難しかったようだが、最後まで楽しんで作成が出来た。

保護者からは教室内容に満足した、次回も参加をさせたいという声が多かった。普段は書道に使う墨汁で絵を書く事を楽しんでいた。

課題：題材は2つで前回に比べ減らしたが、まだ時間に追われていた。

使用したはがきの材質が墨をはじいてしまった。この2件を次回までに検討していきたい。

今後の活用：今回は保護者同伴で小学校1・2年生を受入れた事で参加者が更に増えたと思うので、今後の体験学習でも対象年齢の幅を広げたいと思う。



キラキラ光る万華鏡作り～ウォーターバージョン～

日時：平成19年8月18日（土）

受付10:00 教室10:30～12:00

参加者：16名 ※定員13名

場所：工作室

対象：小学校4年生～中学生

参加費：150円

目的：カッターナイフの使い方を学習する。

創意工夫で身近な素材を万華鏡にし、物尊（リサイクル）の視点を養う。

世界にひとつのオリジナル万華鏡をつくり光の芸術を楽しむ。

内容：カッターナイフの各部位の説明をした後に、ミラーと台紙を切る。

使用している材料が身近な素材であることを説明しながら万華鏡をつくる。

オリジナル万華鏡ができて上がった後、事前に出てくるいろいろなタイプの万華鏡をみて鏡の枚数・形によって模様の違いを見る。

評価：予想以上にカッターナイフの使い方、定規での採寸に時間がかかったが、そのことで講師のスキルアップにつながった。また、出来る子が遅れている子の補助につく助け合いの姿があり、良かったと思う。保護者からは、丁寧な説明に対しての感謝の言葉をいただいた。

課題：カッターナイフの扱い方には十分な時間があつたが、その前の採寸に時間が取られてしまったので、その段階から詳しい説明を入れる必要がある。

今後の活用：総合的には体験学習として充実しているので今後も続けたい。



クレヨンと絵の具のありがとうカード作り

日時：平成19年11月24日（土）

10:00受付開始 10:30～12:30

参加者：5名 ※定員12名

場所：工作室

対象：小学校3年生～中学生

参加費：無料

目的：自画像を描く事で顔の作りを学習し、日頃の感謝の気持ちをカードにして渡す。

内容：自分の顔を鏡で見ながら目の位置・口の位置等を学習し、クレヨンと絵の具でカードに描いた。感謝の気持ちを書いた別紙を立体的に工作し、カードを開いた時、その気持ちが飛び出すようにして完成させた。

評価：絵を描く事が好きな参加者が多くレベルが高かったが、自画像という題材が難しいようだった。

付き添いで来ていた4才児もお父さんと一緒に参加し、楽しく作成できた。

課題：題材が難しいため参加者の作成時間に幅が出来てしまったので、順を追って皆が進める形にしたい。毎回の事ながら作成に乗り出すまでに時間がかかるので、テキスト・見本を用意したい。

今後の活用：参加者は小学生が大半なので、中学生が興味を持つような題材で絵手紙を進めてみたい。



【期間限定体験学習】

◆通年

□飛騨部門

化石のレプリカ作り体験

期 間：平成18年2～9月、11～12月の毎週土・日・祝日（約30分）
平成19年6～9月の毎週土・日・祝日（約30分）

定 員：1回5名

参加費：100～150円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室（体験学習コーナー）

対 象：4才～大学生

目 的：誰でも簡単にできるレプリカ作りを通して、レプリカの作り方や作ることに意味について学習する。

また、化石を身近に感じて頂き、その化石について学習する機会を提供する。

内 容：○オープン陶土…土色のオープン陶土を使って、地中から掘り出されたような質感の化石（三葉虫・スピリファー）のレプリカを作成した。
○ホビーキャスト…2液を混ぜ合わせ約20分で硬化する素材を使って、小さい子供の化石のレプリカ作成を可能にした。ボールチェーンを付けてキーホルダーに、もしくは安全ピンを付けてバッジにした。

○また、それぞれの年齢に合わせ化石についての解説を行った。

評 価：「恐竜の歯のレプリカ作り」をはじめて3年目になるが毎年好評で、今年度は「7色」ということもあり例年以上に人気の体験学習となった。参加希望者多数のため、参加申込みがあってもお断わりせざるを得ない状況が続いた。型に改良を加えたこともあり、失敗が非常に少なかった。

レプリカが固まる間に行なう「展示解説」では熱心に聞いている子供たちも多く、恐竜や化石などについて学習するよい機会となった。

課 題：毎年人気の体験学習のため、より多くの子供たちが参加できるように体制にする必要がある。

今後の活用：今後、更に素材などの改良・研究を行い、より良いものにしていきたい。



ウェイベーウェイベーの飛び出す化石イラスト作り

期 間：平成19年3～5月、9～12月（約30分）
平成20年2月（約30分）

定 員：1回5名

参加費：用紙のみ10円 額・レプリカ付き150円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室（体験学習コーナー）

対 象：小学4年生～大学生

目 的：化石をじっくり見てスケッチすることにより、その化石への興味関心を促し、更に観察する力を養う。また化石には生きていた時の色はほとんど残っていないことから、どのような色をしていたか想像する力を養う。

内 容：化石（三葉虫・アンモナイト・スピリファー）を観察しながら、こすると伸びる特殊な紙にスケッチし、化石の形を見ながら紙をこすって半立体にした。色を塗り、額に飾って完成。

評 価：以前化石クリーニングを実施した時、化石をただ割るだけで化石をじっくり見るということが出来ない子供たちの姿が目立ったことから考え出した体験学習であり、作業や学習の内容自体は簡単で、子供たちは熱心に化石を見つめスケッチに取り組んでいた。

化石をじっくり見ることで新発見する子供たちが多く、非常に感激していた。

使用した材料は、市販されているもので比較的手に入りやすいもの。完成した絵を額に入れることで子供たちの満足度は高まった。

課 題：子供によって若干の個人差があり、進度を合わせるのが難しかった。

実際に実施してみると、予測していたよりも多くの時間が必要になり、予定していた時間を超えてしまった。

今後の活用：全体としては子供たちにとって非常によい学習機会となったと考えられるので、今後も学習を主体とした内容のものを実施していきたい。



体験学習コーナー

期 間：常時

定 員：1名～10名程度

参加費：100円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室（体験学習コーナー）

対 象：全年齢

目 的：時間や年齢に関係なく、楽しく古生物について学んでいただき、化石や古生物についての関心

を促す。

内 容：古生物スタンプ・化石の拓本体験・恐竜パズル・触られる化石・Q & A・べたべたちそうをやってみよう。

評 価：簡単に誰でもできるものだったため、子供に限らず様々な年齢の方が立ち寄り下さった。

課 題：説明不足のため、一部分かりにくいものがあった。

今後の活用：今後も低年齢から高齢の方まで楽しんで頂けるもの、古生物や化石に興味を持って頂ける内容のものを充実させたい。

ワークシート

期 間：常時

定 員：1名～4名

参加費：無料

場 所：地質科学より見た飛騨展示室

対 象：全年齢

目 的：ワークシートをしながら展示室をまわることで、楽しく展示を見て頂き、古生物や化石への興味関心を促す。

内 容：展示室入り口にあるワークシートを取っていただき、各時代に設置してあるスタンプを押しながら、展示を見ていただく。

評 価：スタンプを押すだけの単純なものなので、みなさん楽しんでやって下さった。

課 題：スタンプを押すことだけに一生懸命で、スタンプを押すだけで終わってしまった方もいらっしゃった。

今後の活用：今後も続けていきたいが、工夫が必要。

□人類史部門

古代シルエットカードづくり

日 時：平成18年の開館中の土曜日
13:15～、15:15～

参加者：年間合計146名

参加費：無料

場 所：人類史展示室前

対 象：5才以上

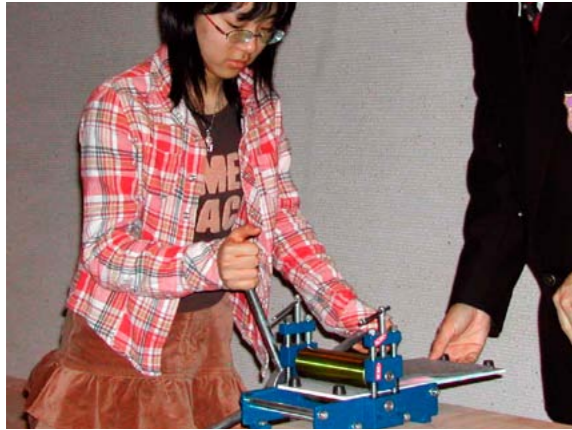
目 的：アンデス文明、エジプト文明に関する模様の型紙を使ってカード作りをする事により、古代文明への関心を促す。

内 容：プレス機と型紙を使って、葉書大の色画用紙に模様を付け、葉書やメッセージカードなどを作った。

評 価：定員を5名としたが、状況に応じて多くの方に体験して頂ける事と無料で出来るという事で手軽に楽しんで頂いた。

課 題：模様に代わり映えがなかった。型紙の材質の検

討が必要。



オリジナルヒエログリフストラップ作り

日時：平成18年の開館中の日曜・祝日
11:15～、13:15～、15:15～

参加者：年間合計139名

参加費：100円

場所：人類史展示室前

対象：小学1年生以上

目的：エジプトの絵柄や神聖文字ヒエログリフを使用し、プラ板に自分の名前を書くストラップ作りの体験を通して、古代エジプト文明への興味、関心を引き出す。

内容：白色のプラ板2枚と蓄光プラ板1枚に、エジプトに関する絵柄を描いたり、ヒエログリフで自分の名前を書いたりした。色を塗ってトースターで10秒ほど焼き、わかんと紐を通してストラップを作った。

評価：書き始めると、時の経つのも忘れて熱中される方が多くいらっしゃった。

課題：絵柄が年間を通して同じであったので今後は期間を区切って色々な絵柄を選べるようにしたい。



オリジナルビーズストラップ作り

期間：平成19年開館中の土曜、日曜、祝日

参加者：年間合計660名

参加費：100円

場所：人類史展示室／エジプト展開催中は企画展示室前

対象：小学校1年生以上

目的：古代の絵柄や模様を描くことで、古代文明に対する興味、関心を深める。

内容：プラバンにあらかじめ用意した古代の絵柄や模様を写して色を塗り、ビーズをつけてストラップを作った。

評価：今年はバージョンを替え、プラバンにビーズを加えたことでよりオリジナルなストラップを作ることができ、特に企画展中は多くの参加があった。

課題：参加者によって所要時間が違うため、申し込みが多い場合待たせてしまうことがあった。



◆特別展期間・限定

□飛騨部門

約4億年前の飛騨の海を作ろう

期間：平成18年4月30日、5月7日(約45分)

定員：1回5名

参加費：50円

場所：特別展「隕石・恐竜展」展示室前

対象：4才～大学生

目的：「海の中にダンゴムシがいる！」と誤解されている三葉虫にスポットを当て、三葉虫の生態と役割を学習しながら、古生物に対する興味関心を高める。

内容：地元飛騨地域から発見された三葉虫化石と南米のポリビアから発見された三葉虫化石を見比べながら、地層や化石についての説明、三葉虫の生態については紙芝居形式で解説を行った。その後透明のプラ板に古生物の絵を写してプラ板キーホルダーを作成した。

評価：プラ板に絵を写す作業は低年齢の子供には向かないかもしれないという心配をよそに、参加者のほとんどが楽しそうに写していた。紙芝居も子供たちの注目をひくことができた。

課題：紙芝居の内容を更に子供たちにわかりやすく改良し、より良い形を検討していきたい。

今後の活用：この紙芝居形式は他の体験学習にも応用できる。

親子で作ろう！飛び出す恐竜カード

期間：平成18年8月12・16・18日(約30分)

定員：1回10組

参加費：無料

場所：特別展「隕石・恐竜展」展示室前

対象：小中学生とその保護者

目的：子供に人気の恐竜の飛び出すペーパークラフト作りを親子で協力して作成することで、家族のコミュニケーションをはかる場とする。また恐竜を切り口に古生物への興味関心を促す。

内容：高山市荘川町で発見された肉食恐竜のヴェロキラプトルと植物食恐竜の格闘の様子を当館オリジナルのキットとして作成したものを使用し、土台のカードに糊や両面テープを使って恐竜のパーツを組み立てた。

評価：子供だけでは難しく、保護者と一緒に協力して作成したためか、完成したときの達成感を親子で感じて頂けた様子。

課題：キットを作る時間がかかりかかった。

今後の活用：恐竜の種類を増やして行きたい。

□人類史部門

エジプトの衣装を着て写真を撮ろう！

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)

場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：古代エジプト神聖文字ヒエログリフの学習。

内容：神聖文字ヒエログリフのスタンプで自分の名前を押して頂いた。

評価：スタンプで自分の名前が押せるので多くの方が楽しんでいた。

課題：スタンプの台が大人には低かったため押しにくいような場面が見られた。



ヒエログリフで名前をおそう！

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)

場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：古代エジプト神聖文字ヒエログリフの学習。

内容：神聖文字ヒエログリフのスタンプで自分の名前を押して頂いた。

評価：スタンプで自分の名前が押せるので多くの方が

楽しんでいた。

課題：スタンプの台が大人には低かったため押しにくいような場面が見られた。



供物を並べよう

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)
場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：古代エジプトの壁画に描かれた供物台と供物をサンプルで再現することで、供物とされていたものを学習する。また、供物を壁画で表現する際の特徴を知る。

内容：供物台の上に果物や野菜などのサンプルを並べ、壁画に描かれた供物と見比べた。

評価：壁画に描かれている供物が現在のものと同じであることが視覚的に理解できていたようである。

課題：供物台が黒だったためヒエログリフなどの模様が分かりづらかった。



エジプトの香水体験

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)

場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：エジプト製の香水の香りを楽しみながらエジプトへの関心を深める。

内容：エジプトでクレオパトラやネフェルティティをイメージして作られた香水や乳香、パラヤロータスなどの香りを体験した。

評価：特に女性に人気で香りを楽しんでいた。

課題：乳香がこぼれていることがあり、容器の工夫が必要であった。



ツタンカーメンの名前を完成させよう！

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)
場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：古代エジプトでも認知度の高いツタンカーメンの名前を完成させることでヒエログリフへの関心を深める。

内容：カルトウーシュの枠の中にヒエログリフでツタンカーメンの名前を並べた。

評価：素材が木材でしっかりしているので見栄えも良く、パズルのように楽しみながら学習されていた。

課題：他の文字も用意して解説を加えると感心も高まると思われる。



コホルメイクを楽しもう！

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)
場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：古代エジプト人のお化粧(コホルメイク)を楽しみながらエジプトへの関心を深める。

内容：古代エジプト人風にアイラインを入れた透明のゴーグルかけてコホルメイクを、古代エジプト人風の髪型を縁取りした鏡を見ながらヘアースタイルを疑似体験した。

評価：めがねをかけるだけなのでお手軽に楽しめ人気があった。

課題：ゴーグルに描いたメイクがはがれる為、度々補修する必要があった。



飛び出す絵本 エジプト神話

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)
場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：飛び出す絵本でエジプト神話に親しむ。

内容：内容も子供にも理解できるように工夫し、更に飛び出すように作成した当館オリジナルの絵本を見て頂いた。

評価：分かりやすくておもしろいと好評だった。

課題：紙製のため、耐久性に難があった。開発作成に時間を要した。



冥界すごろく

日時：平成19年6月1日(金)～9月17日(月)
場所：特別展「エジプト展」展示室

目的：すごろくで古代エジプトの来世観を学習する。
内容：エジプト人が亡くなってさまざまな試練を乗り越えながら来世に辿り着くまでの行程をすごろくで体験した。

評価：子供たちがご家族で楽しんでいる場面が見られた。時間がある方は長い時間をかけて楽しんでいた。

課題：もっと大きなサイコロを使用したら面白くなったと思う。



美術部門

和風葉書作り

日時：平成18年2月26日～5月12日
常時参加可能

参加者：延べ529名

場所：特別展「美人画展」展示室

対象：年齢問わず

参加費：無料

目的：和風柄・扇等のオリジナルPOST CARDを作り「和」に触れていただく。

内容：光記念館オリジナルの葉書に、扇形の色紙を張り、和風のクラフトパンチを使って自分流の葉書をつくった。

評価：クラフトパンチを14種類も用意したので、色々なタイプの葉書ができた。

課題：和紙を使うとパンチに絡まってしまった。複雑な模様・使用頻度の高い物の刃が摩耗してしまった。

パンチに使用する紙の検討が必要。

今後の活用：機会があれば、他の模様も増やして行きたい。



◆お盆 ゴールデンウィーク期間・限定

□古代からのメッセージ部門

宇宙線を見てみよう！

期 間：平成18年4月29日、平成19年10月13日
(10:30~11:30)
平成18年8月15日、平成19年8月13日
(11:15、13:15、15:15)

参加者：計51名
参加費：無料
場 所：工作室
目 的：宇宙線という今まで知らなかったものについて学び、感じることによって新しい世界に興味関心を持つきっかけを提供する。
内 容：霧箱(手作り宇宙線観測器)を作って目に見えない宇宙線の飛跡を観察した。
課 題：複数の霧箱で観察を行う為、飛跡の見え方において生じる差を少なくする為の工夫をする。



プラネタリウムを作ろう！

期 間：平成18年5月5日・8月13日
平成19年5月5日・8月15日
各日11:15、13:15、15:15

参加者：約100名
参加費：300円(H18)、200円(H19)
場 所：工作室
対 象：小学3年生以上
目 的：プラネタリウムを作ることを通して科学への関心を楽しく深められる機会を提供する。
内 容：印刷された画用紙を切り抜いて穴をあけて組み立て、内側から豆電球で照らして星空を映し出した。
評 価：細かくて地道な作業であったが、作成後にプラネタリウムを映し出したときにとても感動した様子で、満足していただけたものと思われる。また、付き添いの大人もいつのまにか子供たちと一緒に作りに取り組んでいて、思わぬふれあいの場を提供できたと感じた。
課 題：作業の簡略化をはかり所用時間を短くしたい。



□飛騨部門

型から作るレプリカ作り

期 間：平成19年4月28日(約60分)
定 員：1回5名
参加費：150円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室
対 象：4才~大学生
目 的：型から作るレプリカ作りを通して博物館の仕事を紹介し、古生物に対する興味関心を促す。
内 容：はじめに展示資料に触れながら化石について学び、「おゆまる」という素材で化石(三葉虫、スピリファー、ウミユリ)の雌型を作り、自由樹脂でレプリカを作成した。
評 価：化石の雌型から自分で作成することはめったに

無い経験ということで、子供たちの反応はとても良かった。

課 題：来館者に対象年齢の子供が少なかった。
今後の活用：参加者の反応は非常に良かったので今後も続けていきたい。

7色に光る恐竜の歯のレプリカ作り！

期 間：平成19年4月29日(約45分)
定 員：1回5名
参加費：400円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室・工作室
対 象：4才~大学生
目 的：地元高山市荘川町から発見された、肉食恐竜ヴェロキラプトル類の歯の化石のレプリカ作りを通して、身近な地域で恐竜化石が発見されていることを知り、飛騨地域への興味関心を高める。更にLEDと特殊な透明な樹脂を使用することにより、楽しみながら科学への関心を深める。
内 容：ホビーキャストという素材に7色LEDを入れて、光る恐竜の歯のレプリカを作った。
評 価：子供に人気の恐竜であり、地元から見つかっている化石のレプリカということもあって大変好評であった。

課 題：特になし。
今後の活用：少人数対応の体験学習は充実してきた。今後は大人数対応の体験学習を充実していきたい。

古植物のガラスリッツェン作り！

期 間：平成19年5月4日(約60分)
定 員：1回5名
参加費：400円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室・工作室
対 象：中学生以上
目 的：植物化石にスポットを当て、ガラスリッツェン作りを通して植物に対する興味関心を促すとともに植物の役割について学習する。
内 容：植物の化石の拓本からデザインを起こし、ガラス製の小皿にリユーターで彫った。
評 価：ガラスを彫るという体験は全員が初めてで、とても新鮮味があった。
課 題：大きなリユーターは扱いにくいいため作業が思うようにはかどらなかった。
今後の活用：大人向けの体験学習として開催していきたい。



オリジナル恐竜Tシャツを作ろう！

期 間：平成19年8月12日(約60分)
定 員：1回5名
参加費：600円

場 所：地質科学より見た飛騨展示室・工作室
対 象：小学生以上
目 的：子供に人気の高い恐竜を題材にし、絶滅した生物に対する想像力を養うきっかけの場とする。同時に、子供の理科離れが叫ばれる中、地質科学に対する興味関心を促すことを目的とする。
内 容：布用ペンやクレヨンを使いオリジナルの恐竜Tシャツを作る体験学習。
評 価：参加された方は楽しんでTシャツ作りをしており、個性豊かな作品ができあがった。
課 題：チャコペンは先が太いので細かいところを描くのが大変そうだった。
今後の活用：今後バリエーションを増やして開催したい。



□人類史部門

ロータスのキャンドルを作ろう！

日時：平成18年5月3日(水・祝) 8月14日(月)
11:15～、13:15～、15:15～
作業時間20分 固まるのを待つ時間30分
(待ち時間は館内を見学する時間とした)

参加者：計18名

参加費：100円

場所：工作室

対象：小学3年生以上

目的：古代エジプト文明において聖なる花であり、朝開き夕方になると閉じるということから太陽の象徴として重宝されたロータス。このロータス型のキャンドル作りを通して、エジプト文明についての興味を促す。

内容：ロータスとエジプトについて学習し、ロータスの香りを体験した後に、湯煎で溶かした蝋にクレヨンで色をつけ、型に流し込んでロータスの花の形のキャンドルを作成した。

評価：予定よりも短時間で作成でき、出来上がったキャンドルを見られたお客様にも好評であった。

課題：クレヨンを溶かす際、小さなお子さんのカッターの扱いには気をつけたい。作成に夢中にな

りホットプレートの縁に手が当たって危険だったので、念のため軍手をはめるようにしたい。



シルバークレイでアクセサリーを作ろう！

日時：平成18年5月4日(木・休)
11:15～、13:15～、15:15～
(作成時間約45分)

参加者：14名

参加費：1000円

場所：人類史展示室前 サンクンガーデン

対象：小学4年生以上

目的：古代エジプトや古代アンデスの模様でシルバークレイでアクセサリーを作ることによって、絵柄の意味について学び、デザインの面白さや銀製品の神秘性に触れる。

内容：シルバークレイを円盤状にのばし、エジプトやナスカの絵柄のスタンプを押して乾燥と焼き上げをした後、真鍮ブラシで磨き、わかと紐を付けてペンダントを作った。

評価：昨年からの経験を生かし短時間での作成が可能となったため、スムーズに行うことが出来た。今回は絵柄の説明を載せた一覧を作成し、お客様が絵柄を選ぶ際に見ていただいた為、その意味をより理解していただけた。

課題：家族でご来館のお客様の場合、兄弟のうち一人

が対象年齢に合わないと、体験したいけど諦めざるを得ないといったこともあった。今回仕入れたシルバークレイが今までのものより軟らかく扱いやすかった。



ガラスの勾玉作り

期間：平成19年4月30日(月休)
5月3日(木祝)
11:15～13:15～15:15～

参加者：15名

参加費：100円

場所：人類史展示室前

対象：小学3年以上

目的：ガラスの勾玉作りを通し、ガラスの作られた歴史や作り方(ガラスの溶ける温度など)、勾玉の歴史等を学ぶ。

内容：耐熱石膏の勾玉の型に粉末状のガラスを入れて電子レンジ用の炉(マイクロウェーブキルン)で焼き、やすりをかけてビーズと一緒にストラップにした。

評価：初回、個数によりレンジで焼く時間に影響があり、再度焼き直したため時間を延長した。親子や大人の方も楽しみながらでき、できあがりにも満足していた。

課題：今回は淡色(白)1色で行ったが、色のバリエー

ションを増やしていきたい。



ツタンカーメン王の黄金プレート作り

期間：平成19年8月14日(火)

参加者：30名

参加費：150円

場所：企画展示室前

対象：5歳以上

目的：ツタンカーメン王や装飾品・神様について学習し、エジプトへの理解を深める。

内容：ツタンカーメン王やエジプトの神様のデザインをプレスした真鍮板にマニキュアやアクリル絵の具で彩色した。

評価：担当者が常時体験学習の実施場所に待機していて、申し込みされた方がその時点で体験できるように試みた。当日の担当者の数が最低人数で済み、総合案内からお客様に勧めやすかった。大人から子供まで幅広く楽しんで頂けた。

課題：ティッシュ・水の準備が不十分であった。マニキュアの臭いが周りに広がっていたため今後は場所の検討が必要。



ロータスのキャンドル作り

期 間：平成19年8月16日(木)
11:15～、13:15～、15:15～
参加者：17名
参加費：100円
場 所：工作室
対 象：小3以上(小2以下は保護者同伴)
目 的：エジプトの聖なる花ロータスのキャンドルを作ること、エジプトへの理解を促す。
内 容：ロータスとエジプトについて学習し、ロータスの香りを体験した後に、湯煎で溶かした蠟にクレヨンで色をつけ、型に流し込んでロータスの花の形のキャンドルを作成。
評 価：自分の好きな色で簡単に作成できることもあり、午後からは予約が殺到した状況だった。小さい子供さんでも親御さんと一緒に作成し楽しんでいかれた。
課 題：工作室の床がクレヨンで汚れてしまったので、クレヨンを削ってカップに入れる時にカレンダーなどの裏紙をおき、入れやすくする工夫を行う。型が壊れてしまったので、次回検討が必要。

□美術部門

大きな書を書いてみよう！

日 時：平成18年5月6日(土)
1回目 11:15～11:45
2回目 13:15～13:45
3回目 15:15～15:45
参加者：1回目 4名
2回目 5名
3回目 6名
場 所：工作室
対 象：年齢問わず
参加費：300円
目 的：大きな半紙に、大きな筆で好きなように字や絵を書くことで感性を磨く。思い切って書くことでスッキリしていただく。
内 容：常設展示の書のところで書の説明を受けた後、工作室にて大きな高級半紙(105cm×135cm)に、大きな筆等(ほうき・はけ)で好きなように字や絵をかいた。
評 価：筆に用途の違うほうき・はけを使ったり、赤と青の絵の具を用意したことで、書・水墨画という型にはまらない現代アート風な作品ができた。
課 題：書だけではなく絵を書くことで一人にかかる時

間がふえたので、本番の作成方法・定員の検討が必要。
今後の活用：下は未就学児から上は50代くらいまでの参加者だったが、全員楽しんで頂けたので続けていきたい。



キラキラ光る万華鏡作り！～ウォーターバージョン～

日 時：平成18年8月17日(木)
第1回 11:15～
第2回 13:15～
第3回 15:15～
各回約40分
参加者：15名 ※定員 各回5名
場 所：工作室
対 象：年齢問わず(小学3年生以下は保護者同伴)
参加費：150円
目 的：身近な物やゴミに思える物を材料とした世界に一つだけのステキな万華鏡を作ることにより、工夫次第で不要と思われる物も再利用できる事を学ぶ。また鏡の枚数や向きや形状によって見え方が違うことを知る。
内 容：ビニールホースにビーズやスパンコールを入れ、水と洗濯のりを入れてビー玉でふたをした。それに3枚の鏡をはり合わせた筒を組み合わせて万華鏡にした。
評 価：外見のビニールホースから見える模様(オブジェクト)が涼しげで綺麗だった為、3回とも定員がすぐにうまった。対象者の枠が広い事もほとんどが家族での参加だった。万華鏡作りの工程が易しく材料が身近な物だったので保護者の方に大変喜ばれ、「今度は自分で材料を用意して作りたい」という声を多く頂いた。
課 題：ビニールホースに入れた水と洗濯のりの分量にばらつきがあったので、誰が作っても同じ物が出来るように工夫する。模様がもっともきれいに見える鏡の角度を研究していきたい。
今後の活用：とても人気があったので今後も続けたい。



ピック体験！！大きな紙と筆で「書」を書いてみよう

日 時：平成19年5月5日(土)
1回目 11:15～
2回目 13:15～
3回目 15:15～
参加者：8名 ※定員 各回10名
場 所：工作室
対 象：年齢問わず
参加費：300円
目 的：少字数書という表現がある事を知って頂く。また珍しい筆で書を楽しんで頂く。
内 容：常設展で出している書をみながら少字数書を学んだ後、特大の筆やほうきや刷毛などを使って、特大の紙に好きなように書を書いた。
評 価：ゴールデンウィークという事もあり、家族連れでの参加は楽しそうであった。赤・黄・青と絵の具も用意しアート感覚で書を楽しんで頂いた。
課 題：来館者の『書』に対するイメージを楽しいものへと変えていきたい。
受付がわかりにくいようなので、検討したい。
今後の活用：自分を表現できる体験学習なので、今後もバリエーションを増やし考えながら続けていきたい。



【その他】

□古代からのメッセージ部門

宇宙桜命名式

開催日：平成18年4月29日 9:00～10:00

定員：20名

場所：車寄棟

内容：平成17年10月に市内の小中学生が植樹した「宇宙桜」の愛称の発表命名式を行った。その後、記念イベントとしてモデルロケットの打ち上げと命名者に記念品等の贈呈を行った。

所感：前年秋より愛称募集をし、170件の応募をいただいた。その中から「子どもたちが夢を持って桜とともに大きく成長してほしい」という願いを込めて「ゆめざくら」を選定した。名付け親は市内の小学生2名で今後も市民や来観者に親しまれる記念館のシンボルとなってもらいたい。開花は2008年の見込みである。



□飛騨部門

化石クリーニング体験

期間：平成18年9～10月（約30分）

定員：1回5名

参加費：100円

場所：地質科学より見た飛騨展示室（サンクンガーデン）

対象：4才～大学生

目的：身近な地域から貴重な化石が産出していることや化石を取り出すことの大変さを学ぶ。更に、実際に自らの手で化石を取り出すことに感動してもらい、飛騨地域についての興味・関心を引き出す。

内容：簡単な道具を使用して、高山市荘川町（手取層群）から採取した中生代の岩石から化石を取り出したり、見えやすくなりした。

また、化石の出来方や化石の種類、化石から分かることなどを学習した。

評価：化石クリーニングをする前に、荘川の古環境の解説、化石の出来方などの解説を聞き、岩石を観察する時間を取った。その為、岩石をむやみにたたき子供が減り、観察するだけで感動や感激を味わえる子供が増え、たとえ植物化石しか出て来なくとも、満足することができた。

課題：主に貝や植物の化石を見つけることができるが、当館のスタッフでは詳しい化石の同定までは難しく、今後ある程度の種類を同定できる実力を身に付ける必要を感じた。

今後の活用：非常に人気があったので、今後も工夫しつつ続けていきたい。

植物化石のレプリカで7色に光るクリスマスツリー作り

期間：平成18年11月11日 10:00～12:00

定員：25名

参加費：無料

場所：高山市民文化会館

対象：小学3年生～中学生（高山市内）

目的：中生代の植物化石を観察し、植物や化石に対し造詣を深めてもらう。化石に興味を湧いたところで、記念館に足を運んでもらえるようPRをする。

内容：各人に植物レプリカを作成してもらい、予め用意しておいた七色LEDをセットした台に接着。その後クリスマスツリーに見立てる緑の画用紙を加工しセットした。

評価：保護者より「思っていたものより完成度の高いしっかりしたものが作れたので良かった」という評価があった。また、勉強になったという意見も多く、目的を達成していると思われる。

課題：今後いかにして、記念館への来館に結びつけるか。

科学フェスティバル

主催：飛騨市教育研究所

期間：平成18年8月10日 8:45～11:30

平成19年8月10日 8:45～11:30

定員：28名（H18）、60名（H19）

参加費：200円

場所：神岡小学校、古川小学校

対象：小学4年生～6年生の子供と保護者

目的：理科・科学に興味のある飛騨市内の小4～6年生の子供たちを対象に、大学生や博物館の職員が出前体験学習を行い、子供たちの知的好奇心や興味関心を促すことを目的とする。

内容：4つの実験ブースに別れ、さらに前・後半各15名ずつローテーションで複数の体験を行う。

- A、作ろう綿菓子製造機
- B、化石レプリカ作り
- C、プラスチックで遊ぼう
- D、いろいろ電池

光記念館はBの化石のレプリカ作りを担当した。はじめに小学校の先生に当館の「化石学習キット」を使用して化石や地層についての説明をして頂いた。

○7色に光るアンモナイト：ホビーキャストを使用し、7色LEDを入れたアンモナイトレプリカ（2色の自由樹脂をきれいなマーブル状にしたレプリカ）を作成。（H18年）

○光る恐竜の歯のレプリカ：7色に光るアンモナイトの恐竜の歯ヴァージョンで、高山市荘川町で発見されたヴェロキラプトルの歯の化石型を使用した。

○三葉虫のレプリカ：速乾性の石膏を使用し、モロッコ産の約7cmの大きさの三葉虫のレプリカを作成した。（H19年）

評価：飛騨市内小中学校理科部会の先生方が開館時より継続してきた化石のレプリカ作りの体験学習に目を留められ、声をかけて頂いた。この地方では大きな科学館が無く、これを機会にさらに教育施設として社会貢献していきたい。

開催状況：参加者にとって今までにないレプリカだったので、完成品を見せたときの子供たちの嬉しそうなお返事が印象的だった。これを機会に科学や博物館に興味を持ってもらえたら…と思う。

課題：ホビーキャストと自由樹脂は同時進行はできない。（H18年）

今後の活用：学校団体などの大人数をいつでも受け入れられる体制を整えたい。

大きなアンモナイトのレプリカを作ってみよう！

期間：平成18年5月13日 10:00～11:35

平成19年5月19日 10:00～11:35

定員：20名（H18）、25名（H19）

参加費：無料

場所：高山市民文化会館、光記念館案内所

対象：小学1年生～3年生（高山市内）

目的：アンモナイトのレプリカ作りを通して古生物への興味関心を促すとともに、飛騨地域の「地球史」を知らせる。

内容：講師＝県立高校教諭・杉山政弘先生より化石の成り立ちを説明していただき、アンモナイト化石のレプリカを石膏で作成、硬化待ちの間にアンモナイトについて講師より説明を受け、レプリカの色付け、学名のシール貼りをして、まとめのお話を講師にいただいた。

評価：今まで高学年向けの体験学習が多く、低学年対象の体験学習が少なかったこともあり、応募者が大変多かった。岐阜県立池田高等学校教諭杉山先生にお越しいただき、子供たちに変わかりやすくお話いただけた。

課題：コストダウンのため「おゆまる」で型を作成したが、大きいため厚みがなく、平成18年度には石膏を流したときに型が歪んでしまった。平成19年には厚紙で枠を作ったことにより型の歪みは解消した。

今後の活用：参加できなかった子供から来年も開催してほしいという声があったので、来年も引き続き開催したい。



資料貸出

資料名	分類	貸出先
葛飾北斎『日蓮』、『日・龍・月』	絵画	フリーア美術館（ワシントン）
佐藤太清『旅愁』	絵画	板橋区立美術館
加山又造『夜桜』	絵画	富山県立水墨美術館
東山魁夷『凧』	絵画	市川市立 東山魁夷美術館